

予算科目	10教育費	O4幼稚園費	O1幼稚園費	O2幼稚園管理運営事業																																																													
細事業名	O1 幼稚園管理運営事業			決算書 P.344																																																													
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ② 学校教育の充実																																																														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																													
9,173千円	12,872千円	3,699千円	71.2%	14,245千円																																																													
目的	適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、幼稚園における就学時前教育の充実を図る。																																																																
主要な事務・事業及び成果の概要	幼稚園運営に必要な維持管理を行い、必要経費を支出した。幼稚園における3歳児の受け入れ、さらに預かり保育事業の実施により、就学時前教育の充実等に対するニーズに応えることができた。																																																																
	<p style="text-align: center;">(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">園児数 (H27.3.31現在)</th> <th colspan="4">預かり保育 (延利用人数)</th> </tr> <tr> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>計</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山幼稚園</td> <td>10</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>64</td> <td>0</td> <td>105</td> <td>37</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>大宮幼稚園</td> <td>19</td> <td>25</td> <td>20</td> <td>64</td> <td>24</td> <td>99</td> <td>75</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>網野幼稚園</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>18</td> <td>33</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>丹後幼稚園</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>11</td> <td>36</td> <td>4</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>43</td> <td>70</td> <td>65</td> <td>178</td> <td>41</td> <td>246</td> <td>121</td> <td>408</td> </tr> </tbody> </table> <p>○自動車運転委託料、バス借上料 (園外活動) 241千円</p> <p>○一般管理経費 8,932千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教諭研修等旅費等 1,130千円 ・消耗品費・燃料費・光熱水費等 7,672千円 ・各種負担金 130千円 					園児数 (H27.3.31現在)				預かり保育 (延利用人数)				3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計	峰山幼稚園	10	29	25	64	0	105	37	142	大宮幼稚園	19	25	20	64	24	99	75	198	網野幼稚園	9	6	18	33	6	6	5	17	丹後幼稚園	5	10	2	17	11	36	4	51	計	43	70	65	178	41	246	121
	園児数 (H27.3.31現在)					預かり保育 (延利用人数)																																																											
	3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計																																																									
峰山幼稚園	10	29	25	64	0	105	37	142																																																									
大宮幼稚園	19	25	20	64	24	99	75	198																																																									
網野幼稚園	9	6	18	33	6	6	5	17																																																									
丹後幼稚園	5	10	2	17	11	36	4	51																																																									
計	43	70	65	178	41	246	121	408																																																									
主な財源	使用料	幼稚園保育料	1,144千円																																																														
	国補	幼稚園就園奨励費補助金	153千円																																																														
	諸収入	幼稚園預かり保育料	303千円																																																														
評価・課題等	<p>○幼児期の特性を踏まえ、児童の環境に応じた教育を行うことを基本に、人格形成に基礎を培う就学時前教育の場を提供することができた。</p> <p>○子ども子育て支援制度が施行される中、京丹後市においても幼稚園と保育所の一体化運営の方針を踏まえ、市域における就学時教育の充実を図ることが必要である。</p>																																																																
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課																																																																

予算科目	10教育費	O4幼稚園費	O1幼稚園費	O2幼稚園管理運営事業
細事業名	O2 幼稚園ワールサポーター等設置事業			決算書 P.344
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ② 学校教育の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
17,595千円	17,612千円	17千円	99.9%	24,263千円
目的	幼稚園に介護職員及び預かり保育職員を配置することで、適正でかつ円滑な幼稚園運営を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>クラスの園児数や園児の発育状況に応じ臨時職員を配置するとともに、障害等により支援を必要とする園児に対しては、個別に指導計画を作成し、発達に応じた指導を継続的に実施していくことを目的に職員を配置した。</p> <p>また、保護者の就労等による幼稚園教育に対するニーズに応え、全園で預かり保育事業を行い、14時以降の保育についても適正な人員配置を行った。</p>			
	<p>○臨時職員賃金 15,339千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員 3人 ・介護・預かり保育職員 5人 ・作業員 1人 <p>○共済費 (社会保険料・労災保険料) 2,256千円</p> <p>○預かり保育の利用実績 60人 (実人数)</p>			
主な財源	使用料	幼稚園保育料	2,194千円	
	府補	未来づくり交付金 (幼稚園ワールサポーター等設置事業)	5,000千円	
	諸収入	幼稚園預かり保育料	582千円	
評価・課題等	<p>○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、幼稚園の円滑な運営と園児の成長に対して非常に大きな役割を担うことができています。</p> <p>○今後も支援が必要な園児の受け入れを視野に入れたサポーターの確保を行い、引き続き職員体制の充実を図っていく必要がある。</p> <p>○預かり保育については、利用者数の変動に柔軟に対応できる人員配置を行う必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課			

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	04園児等健康管理事業	
細事業名	01 園児等健康管理事業			決算書	P.346
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
251千円	326千円	75千円	76.9%	394千円	
目的	幼稚園における円滑な教育活動を実施するため、専門医による検診や保健衛生管理を行い、園児の健康保持と増進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	園児の健康保持と増進のため、各種検診や検査を実施。				
	<ul style="list-style-type: none"> ○各種検診・検査 177千円 <ul style="list-style-type: none"> ・眼科検診委託料 174人 54千円 ・耳鼻科検診委託料 175人 72千円 ・尿検査委託料 176人 30千円 ・ぎょう虫検査委託料 176人 21千円 ○保健衛生消耗品・医薬材料費 74千円 				
主な財源					
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○学校保健安全法をはじめとする関係法令に基づき、各種検診・検査を適正に実施し、園児の健康管理及び健康づくりに努めた。 ○今後も園児の健康管理を徹底し、疾病の早期発見と予防に努め、園児の健やかな成長を支える必要がある。 				
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	06幼稚園施設管理事業	
細事業名	01 幼稚園施設管理事業			決算書	P.346
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,689千円	1,709千円	20千円	98.8%	1,383千円	
目的	幼稚園施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	市内4幼稚園について、幼稚園を運営する上で必要な検査、保守管理委託、事務機器のリース、施設修繕等を実施した。また、峰山幼稚園（吉原小学校内）を峰山こども園へ移転した。				
	<ul style="list-style-type: none"> ○建物火災保険料 143千円 ○施設管理等委託料（9業務） 389千円 <ul style="list-style-type: none"> ・給排水設備保守、空調設備保守点検、消防設備等保守点検、電気設備保守管理、自動ドア保守点検、施設警備、ガスタンク保守、害虫駆除、グリストラップ処理 ○事務機器リース料 170千円 <ul style="list-style-type: none"> ・複写機 2台 ・印刷機 4台 ○修繕費 268千円 <ul style="list-style-type: none"> ・網野幼稚園園児用手洗い台修繕ほか ○工事請負費 426千円 <ul style="list-style-type: none"> ・網野幼稚園エアコン移設工事ほか ○峰山幼稚園（吉原小学校内）の移転 293千円 <ul style="list-style-type: none"> ・引越委託料 265千円 ・手数料（遊具運搬手数料ほか） 28千円 				
主な財源					
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の維持管理を適切に行うことで、円滑な幼稚園の運営を行うことができた。 ○峰山幼稚園（吉原小学校内）から峰山こども園への移転も円滑に行うことができ、新施設での就学前教育の実施準備ができた。 				
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	02社会教育委員設置事業	
細事業名	01 社会教育委員設置事業			決算書	P.348
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
592千円	676千円	84千円	87.5%	676千円	
目的	社会教育委員を設置し、社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うことによって、市民の声を反映した社会教育事業を推進する。				
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	<p>社会教育委員会議を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議するとともに、社会教育委員の研修機会を提供した。</p> <p><社会教育委員会議の主な内容> (4回開催)</p> <p>平成25年度社会教育・社会体育事業の概要</p> <p>平成26年度社会教育・社会体育事業計画・予算、協議課題、意見交換</p> <p>研究課題「中央公民館の組織・運営体制について」</p> <p><社会教育委員研修事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府社会教育委員連絡協議会総会 (6月19日 久御山町中央公民館) ・丹後地方社会教育委員連絡協議会総会・第1回研修会 (6月27日 知遊館) ・丹後地方社会教育委員連絡協議会第2回研修会 (11月11日 加悦地域公民館) ・京都府社会教育委員連絡協議会研究大会 (11月27日 綾部市中央公民館) ・丹後地方社会教育委員連絡協議会理事・幹事会への参加 (3回) <p>○報酬 (社会教育委員報酬) 383千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員 15人 (任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日) <p>○旅費 (費用弁償、研修事業への参加旅費) 111千円</p> <p>○需用費 (研修事業資料代、燃料費) 11千円</p> <p>○委託料 (研修会参加バス運転委託料) 16千円</p> <p>○使用料及び賃借料 (有料道路通行料) 6千円</p> <p>○負担金、補助及び交付金 65千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金 (京都府社会教育委員連絡協議会分担金含む) 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○社会教育委員会議を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議することで、市民の意向を反映した社会教育行政を進めることができた。</p> <p>○今後も会議を通して、市民のニーズの把握に努め、社会教育行政を進めていく必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	03社会教育指導員設置事業	
細事業名	01 社会教育指導員設置事業			決算書	P.348
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
21,336千円	21,400千円	64千円	99.7%	21,400千円	
目的	社会教育課及び各地域公民館に社会教育指導員を設置し、社会教育の推進体制を整備するとともに、事業を積極的に展開することにより社会教育活動の充実を図る。				
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	<p>社会教育の推進体制を整備し、事業を積極的に展開することにより社会教育活動の充実を図るため、社会教育指導員を設置した。主な業務は、社会教育事業の計画・立案及び運営や社会教育関係団体等への指導・助言など団体の育成・支援を行った。</p> <p>社会教育指導員の配置 9人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育課 1人 ・峰山地域公民館 2人 ・大宮地域公民館 1人 ・網野地域公民館 2人 ・丹後地域公民館 1人 ・弥栄地域公民館 1人 ・久美浜地域公民館 1人 <p>○報酬 17,982千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育指導員報酬 <p>○共済費 2,987千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保険料 2,692千円 ・労災保険料 52千円 ・雇用保険料 243千円 <p>○旅費 367千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○社会教育指導員の設置により、各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行うことができ、住民のニーズに応えた社会教育活動を推進することができた。</p> <p>○今後も、住民のニーズの的確な把握に努め、社会教育活動を支援していく必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	04成人式開催事業		
細事業名	01 成人式開催事業			決算書	P.348	
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	③ 若者の育成	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
1,371千円	1,381千円	10千円	99.2%	1,288千円		
目的	人生の節目としての式典を開催することによって、大人（成人）になったことの自覚を促すとともに、今後自らの人生を生き抜こうとする新成人を祝い激励する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>日時 平成27年3月15日（日）</p> <p>会場 京都府丹後文化会館</p> <p>対象 平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれの市内在住者及び市内各中学校卒業生737人（男381人、女356人）</p> <p>出席者 591人（出席率 80.2%）</p> <p>内容 アトラクション：丹後吹奏楽団、京丹後市少年少女合唱団協議会、丹後小町踊り子隊</p> <p>式典：記念式典、二十歳の主張等 記念品：記念写真、慶弔用ふくさ</p> <p>○報償費 988千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償金（出演謝金） 100千円 ・報償金（司会謝金） 35千円 ・報償物品（慶弔用ふくさ、記念写真） 853千円 <p>○需用費（消耗品費、燃料費） 38千円</p> <p>○役務費（通信運搬費、成人式映像中継手数料） 136千円</p> <p>○委託料（バス運転委託料） 9千円</p> <p>○使用料及び賃借料（会場借上料等） 200千円</p>					
主な財源						
評価・課題等	<p>○成人式の対象者は減っているものの、出席率では80%を超え、多くの新成人の参加を得て開催することができた。</p> <p>○新成人の参画等、成人式の在り方について検討が必要である。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	05青少年教育事業		
細事業名	01 青少年教育事業			決算書	P.350	
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	③ 若者の育成	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
3,047千円	3,102千円	55千円	98.2%	2,952千円		
目的	将来を担う青少年の健やかな成長を支援するため、体験活動やさまざまな地域活動への参加を促進することによって、心豊かな人間の基礎づくりを推進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○子ども体験事業 319千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育課（3事業5回 延べ参加者数166人） 8千円 理科わくわく体験教室、わくわく体験教室、おもしろ科学体験 ・網野地域公民館（1事業10回 延べ参加者数446人） 236千円 網野町ウィークエンド事業（ジオトレッキング、太陽光実験、廃油からのキャンドル作り、漂流物調査 他） ・丹後地域公民館（1事業1回 参加者数約300人） 75千円 少年少女意見発表大会 <p>○地域公民館合同事業 158千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰山・久美浜地域公民館（キャンプ 延べ参加者数30人） 60千円 ・網野・丹後地域公民館（キャンプ 延べ参加者数28人） 40千円 ・大宮・弥栄地域公民館（キャンプ 延べ参加者数45人） 58千円 <p>○青少年健全育成会への補助 640千円</p> <p>○少年少女児童合唱団への補助（4団体） 850千円</p> <p>○地域子ども教室補助金事業 1,080千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費（広報用紙代） 30千円 ・補助金（7団体） 1,050千円 					
主な財源	府補	京のまなび教室推進事業費補助金（2/3）				132千円
評価・課題等	<p>○子どもを対象とした体験活動などの事業の実施及び各種青少年関係団体への支援を行うことによって、地域・家庭・学校との連携による青少年の育成と子どもの居場所づくりの充実を図ることができた。</p> <p>○青少年健全育成会が行う事業をより効果的な取組とするため、青少年健全育成会の組織強化と効果的な事業の実施を図っていく必要がある。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	07成人教育事業
細事業名	01 成人教育事業			決算書 P.350
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
814千円	857千円	43千円	94.9%	857千円
目的	市民の学習に対する多様な要望にこたえるため、学習機会を提供するとともに、学習活動を通じた市民交流を促進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市民の学習機会の提供を目的としてスマートフォン初心者講習会、歴史探訪講座を実施した。また、女性教育としてビタミン講座を実施するとともに、連合婦人会への補助を行った。			
	○成人教育		332千円	
	・スマートフォン初心者講習会	実施回数	3講座×5回=15回	
		延参加者数	232人	
		実施場所	峰山・網野	
・京丹後市歴史探訪講座 (網野地域公民館主管)	実施回数	6回		
	延参加者数	161人		
○女性教育		103千円		
・ビタミン講座 (網野地域公民館主管)	実施回数	6回		
	延参加者数	108人		
○京丹後市連合婦人会補助金		361千円		
○その他(消耗品費)		18千円		
主な財源	諸収入	社会教育事業等参加料		59千円
評価・課題等	○効果的な学習機会を提供することによって、学習活動を通じた市民交流を促進することができた。 ○市民の学習ニーズや地域課題を把握し、地域人材を活用した各種の生涯学習機会を提供していく必要がある。 ○市民が学習を継続するために、自主的なサークル活動への移行を支援する必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	09高齢者教育事業			
細事業名	01 高齢者教育事業			決算書 P.350			
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
5,215千円	5,642千円	427千円	92.4%	5,708千円			
目的	高齢者大学などの講座を市内全域で実施することによって、高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を生かした地域活動を推進する。						
主要な事務・事業及び成果の概要	○高齢者大学			4,665千円			
	・受講者数			880人(平成27年3月31日現在)			
	・実施地域			各町(各地域公民館主管)			
	学園	活動内容					
		一般講座		趣味講座			
		回数	延参加者数	延回数	延参加者数		
	回数	延参加者数	講座数	講座内容			
	峰山	8回	484人	123回	1,561人	10	ちぎり絵、コーラス、民謡、歌謡等
	大宮	8回	330人	40回	631人	7	庭木剪定、絵手紙、パソコン等
	網野	10回	1,274人	231回	3,609人	12	陶芸、水彩画、習字、料理等
丹後	8回	308人	54回	654人	9	生け花、詩吟、書道、俳句等	
弥栄	8回	282人	60回	552人	7	書道、絵手紙、手芸、料理等	
久美浜	8回	288人	61回	750人	8	囲碁、古典文学、パソコン、料理等	
○高齢者大学院				246千円			
・受講者数			27人				
・実施回数			5回				
・実施場所			成美大学(福知山市)				
○初心者トレッキング講座				304千円			
・受講者数			20人				
・実施回数			4回				
・実施場所			丹後地域公民館・京都市内				
主な財源	府補	未来づくり交付金(高齢者教育事業)		1,383千円			
	諸収入	社会教育事業等参加料		1,263千円			
評価・課題等	○各種講座(高齢者大学・トレッキング講座及び高齢者大学院)の実施により、高齢者の仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの機会を提供することができ、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○より一層の高齢者の社会参加の促進と地域活動への推進を図ることが必要である。						
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課						

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	10家庭教育事業		
細事業名	01 家庭教育事業			決算書	P.352	
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
1,888千円	1,902千円	14千円	99.2%	1,877千円		
目的	発達段階に応じた学習機会の提供及びきめ細かな家庭教育支援を実施することによって、すべての教育の出発点であり子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。					
主要な事業・事業及び成果の概要	<p>乳幼児期から就学前・学童期、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。</p> <p>○子育て講座 347千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期子育て講座 実施回数 2回 延参加者数 89人 ・就学前、学童期、思春期子育て講座 実施回数 13回 延参加者数 1,123人 <p>○家庭教育支援チーム事業 934千円</p> <p><家庭教育支援チーム> (各地域公民館6チーム/子育てサポーター46人)</p> <p>地域や家庭の教育力の低下、子育ての孤立化が進み、悩みや不安を抱えている親に対して、きめ細かな家庭教育支援を行うことを目的に、子育て経験者や子育てに関わる専門的な知識や経験を持ち、趣旨に賛同するメンバーで構成された「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て交流会 (全チーム) 実施回数 31回 延参加者数 586人 ・「手紙で結ぶ家族の絆」事業 実施回数 各1回 延参加者数 222人 (峰山・網野・弥栄・久美浜) ・子育て広場 (全チーム) 実施回数 6回 延参加者数 164人 ・高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業 実施回数 27回 延参加者数 576人 (全チーム) ・広報誌発行 (全チーム) 発行回数 各1回 <p>○京丹後市PTA協議会補助事業 607千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京丹後市PTA研究大会の開催、各ブロック子育て講演会の開催、各種研修会の参加 PTA安全会掛金助成 					
主な財源	府補	家庭教育支援基盤形成事業費補助金 (2/3)			84.2千円	
評価・課題等	<p>○子どもの発達段階に即した子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割などの重要性について、認識を深めていただくことができた。</p> <p>○関係機関との連携により、課題の共有と学習会等への参加促進を図る必要がある。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	11芸術文化事業		
細事業名	01 芸術文化事業			決算書	P.352	
総合計画	基本方針 V パートナースhip都市		計画項目	⑥ 文化芸術活動の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
34,300千円	34,300千円	0千円	100.0%	34,300千円		
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう地域の生活文化を育て、ゆとりと潤いのある地域づくりを推進する。					
主要な事業・事業及び成果の概要	<p>文化芸術活動の充実及び推進を図るため、文化活動団体への支援を行い、市民が優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めた。</p> <p>○地域文化づくり事業委託料 2,000千円</p> <p>公益財団法人京都府丹後文化事業団に事業を委託し、丹後文化会館を拠点として活動する「文化の仕掛人」を雇用し、地域資源を活用した丹後地域ならではの文化・芸術活動の掘り起こしを行い、地域住民とともに文化力による地域の活性化とまちづくりを進める事業を実施した。</p> <p>○京都府丹後文化事業団運営補助金 27,000千円</p> <p>○京丹後市文化協会活動費補助金 3,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体 173団体、2,561人 <p>○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300千円</p> <p>丹後地域2市2町の住民参加の文化事業として、幼児から高齢者まで、舞台部門(5事業)、展示部門(2事業)、セミナー(3事業)を実施した。</p> <p>○小町ろまん短歌大会開催補助金 500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日、会場 平成26年11月30日(日)、アミティ丹後多目的ホール ・短歌投稿 一般の部1,094首、高校生の部437首、中学生の部2,206首 小学生の部638首 (合計) 4,375首 ・大会内容 添削教室、開会式典、記念講演、入選作品の発表・表彰・選者講評 ・参加人数 140人 					
主な財源	府補	未来づくり交付金(文化振興推進事業)			300千円	
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金			1,000千円	
評価・課題等	<p>○文化活動団体等への支援により、優れた文化を鑑賞する機会の提供及び地域文化の普及・振興等が推進され、文化芸術活動の充実及び推進を図ることができた。</p> <p>○今後、文化協会等各団体の更なる自主運営化に向けて指導していく必要がある。</p> <p>○短歌大会の作品応募数については、一層の増加が見込めるよう検討していく必要がある。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	12人権教育事業
細事業名	01 人権教育事業			決算書 P.352
総合計画	基本方針 V パートナースシップ都市	計画項目	③ 人権の尊重	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
575千円	672千円	97千円	85.5%	699千円
目的	人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権尊重の精神の涵養を図ることを目的とする。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>人権に関する多様な課題について、住民の学習機会の拡充と身近で気軽に参加することができる効果的な学習・啓発事業を実施した。</p> <p>○人権教育講演会等 474千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども映画会(3会場・延べ参加者 102人) 日時等 平成26年8月16日 丹後地域公民館・峰山総合福祉センター・久美浜庁舎 上映映画 「サマーウォーズ」 講演会(参加者 350人) 日時等 平成26年8月18日 京都府丹後文化会館 演題 「京都府の人権教育の歩みと今後の課題」 講師 中村 満(前京都府人権教育研究協議会会長、井手町教育委員会) 講演会(参加者 110人) 日時等 平成27年3月3日 アグリセンター大宮 演題 「インターネットと子どもの人権～子どもを守る大人の役割～」 講師 神月 紀輔(京都ノートルダム女子大学 教授) <p>○障害者交流研修会 59千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者交流研修会(参加者21人) 日時等 平成26年6月25日 峰山地域公民館 内容 ルーピング見学、小物作り、大人の読み聞かせ、リリガ 音楽鑑賞 聴覚障害者交流研修会(参加者31人) 日時等 平成26年10月17日 アグリセンター大宮 内容 カローリング体験、和紙人形作り体験 <p>○その他事務費 42千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通旅費、消耗品費 			
主な財源	府補 人権問題啓発事業費補助金(1/2)			238千円
評価・課題等	<p>○各種の人権講演会を開催するとともに、各地域でも啓発用の視聴覚教材を活用した人権学習会を実施し、人権意識の高揚を図った。</p> <p>○人権教育は、必要課題であるが一般的に参加者を募集するのが難しい傾向にある。講師の選定や開催時期を工夫したり、市内の各種団体や組織の連携を図ったりするなど、一人でも多くの市民に人権について考えていただく機会を提供することが必要である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	50社会教育総務一般経費
細事業名	01 社会教育総務一般経費			決算書 P.352
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
436千円	580千円	144千円	75.1%	605千円
目的	社会教育事業に要する事務経費			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>社会教育主事講習の受講及び社会教育事業実施に必要な事務経費を支出した</p> <p>○社会教育事業一般経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅費 265千円 普通旅費、特別旅費 需用費 109千円 消耗品費、修繕料 使用料及び賃借料 4千円 有料道路通行料 負担金、補助及び交付金 58千円 社会教育主事講習受講料 			
主な財源				
評価・課題等	<p>社会教育関係職員が社会教育主事講習への参加する機会が確保でき、職員の資質向上を図ることができた。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	01中央公民館管理運営事業															
細事業名	01 中央公民館管理運営事業			決算書 P.354															
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ④ 社会教育・スポーツの充実																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額															
39,723千円	39,724千円	1千円	99.9%	39,807千円															
目的	地区の課題学習及び交流活動の拠点として、自治区が設置する地区公民館（53館）を支援することによって、生活基盤を支える地区の活性化を目指した活動を推進する。																		
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概要	地区公民館活動交付金、地区公民館活動の支援、運営にかかる経費を支出した。																		
	○報償費	51千円																	
	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館職員研修会講師謝金 テーマ：地域人材を活用した地域支援活動と公民館の役割 開催日：平成26年6月24日（火） 会場：アグリセンター大宮 																		
	○役務費	2,052千円																	
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館（傷害）保険料 地区公民館、分館 53館分 																			
○負担金、補助金及び交付金	37,620千円																		
<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館活動交付金 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町公民館連絡協議会</td> <td>8,127千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町公民館連絡協議会</td> <td>6,390千円</td> </tr> <tr> <td>網野町公民館連絡協議会</td> <td>8,642千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町公民館連絡協議会</td> <td>4,193千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町公民館連絡協議会</td> <td>3,470千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町公民館連絡協議会</td> <td>6,798千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37,620千円</td> </tr> </tbody> </table>				内 訳	交付金額	峰山町公民館連絡協議会	8,127千円	大宮町公民館連絡協議会	6,390千円	網野町公民館連絡協議会	8,642千円	丹後町公民館連絡協議会	4,193千円	弥栄町公民館連絡協議会	3,470千円	久美浜町公民館連絡協議会	6,798千円	計	37,620千円
内 訳	交付金額																		
峰山町公民館連絡協議会	8,127千円																		
大宮町公民館連絡協議会	6,390千円																		
網野町公民館連絡協議会	8,642千円																		
丹後町公民館連絡協議会	4,193千円																		
弥栄町公民館連絡協議会	3,470千円																		
久美浜町公民館連絡協議会	6,798千円																		
計	37,620千円																		
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金	35,500千円																
評価・課題等	○地区公民館活動の支援を通じて、住民のコミュニティ活動の推進を図るとともに、学習及び交流機会の提供など地域づくりの拠点としての機能を発揮することができた。																		
	○地区公民館活動のより一層の効率化を図り、また地域住民のニーズに合った事業を検討する必要がある。																		
事業所管課		教育委員会事務局／社会教育課																	

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業		
細事業名	01 峰山地域公民館管理運営事業			決算書 P.354		
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ④ 社会教育・スポーツの充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
9,540千円	9,954千円	414千円	95.8%	9,954千円		
目的	峰山地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の維持管理及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の拡充を推進する。					
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概要	○報償費、旅費（費用弁償）	20千円	○役務費	155千円		
	○需用費	5,821千円	通信運搬費	126千円		
	燃料費	76千円	手数料	9千円		
	光熱水費	3,896千円	保険料	20千円		
修繕料	1,345千円	○委託料	3,394千円			
消耗品費等	504千円	施設警備	2,313千円			
○使用料及び賃借料	22千円	施設清掃	129千円			
○備品購入費（ガス加購入）	124千円	ILP-ター保守	531千円			
○負補交（電気代負担金）	4千円	その他	421千円			
社会教育事業	事業種別	事業・講座名	実施回数	延人数	決算額	
	青少年教育	みねやま子ども囲碁大会	1回	21人	-	
公民館利用	成人教育	夏休み体験事業	11回	226人	27千円	
		ハーブガーデン講座	15回	270人	30千円	
		エコクラフト講座	3回	36人	18千円	
		はじめてのフラダンス講座	29回	486人	-	
体育事業	第46回峰山スポーツ祭典	1回	1,000人	-		
公民館利用	大会議室	717回	20,860人	和室Ⅱ	374回	3,419人
	第1会議室	393回	3,688人	料理実習室	749回	2,231人
	練習室	351回	3,650人	第2会議室	519回	4,188人
	講義室	371回	7,001人	視聴覚室	64回	1,124人
	和室Ⅰ	370回	3,126人	展示室	46回	1,774人
	計				3,954回	51,061人
	使用料		峰山地域公民館使用料	1,046千円		
諸収入		峰山地域公民館水道使用料負担金	181千円			
諸収入		社会教育事業等参加料	27千円			
評価・課題等	○地域の拠点である施設の適正な維持管理と経費の削減に努めるとともに、地域住民へ幅広い学習機会を提供することにより効果的な社会教育活動を推進することができた。					
	○施設の老朽化が進み維持管理経費の増大が予想されるため、引き続き経費節減と施設の適正な維持管理に努めていく必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業	
細事業名	02 大宮地域公民館管理運営事業			決算書 P.354	
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
608千円	705千円	97千円	86.2%	705千円	
目的	大宮地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の維持管理及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の拡充を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○地域公民館の維持管理費 373千円				
	・需用費 180千円				
	消耗品費				
	・使用料及び賃借料 193千円				
	印刷機借上料				
	○地域公民館の運営費 235千円				
	・社会教育事業費 222千円				
	事業種別	事業・講座名	回数	延人数	決算額
	成人教育	ヨーガセラピー講座	5回	94人	12千円
		名所めぐり「二条城見学」	1回	29人	40千円
料理講座～百寿人生のレシピ～		5回	27人	30千円	
絵手紙講座		5回	51人	24千円	
ピラティス講座		5回	82人	12千円	
実用書道講座		5回	63人	18千円	
パソコン講座～ワードの活用～		5回	41人	24千円	
青少年教育	子ども体験事業「絵手紙教室」	1回	7人	7千円	
	子ども体験事業「おやこの食育教室」	1回	23人	1千円	
女性教育	エコクラフトバッグ講座	5回	37人	30千円	
	和紙ちぎり絵講座	4回	12人	24千円	
・公民館報 13千円					
主な財源	諸収入	社会教育事業等参加料	60千円		
評価・課題等	○成人教育事業などを実施し、地域住民に幅広い学習機会を提供するとともに、地域内の地区公民館の交流と連携を支援することで、より質の高い公民館活動が展開できた。 ○より一層社会教育活動を推進するため、市民のニーズに合った講座の内容を検討するとともに、広報活動を工夫するなど市民への効果的な周知に努め、参加者の拡大を図る必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業
細事業名	03 網野地域公民館管理運営事業			決算書 P.354
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
561千円	578千円	17千円	97.0%	576千円
目的	網野地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の拡充を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○地域公民館の維持管理費 465千円			
	・需用費 297千円			
	消耗品費			
	・役務費 29千円			
	通信運搬費 28千円			
	ごみ持込処理手数料 1千円			
	・使用料及び賃借料 139千円			
	印刷機借上料 125千円			
	テレビ受信料 14千円			
	○地域公民館の運営費 96千円			
・社会教育事業費 66千円				
事業種別	事業・講座名	回数	延人数	決算額
芸術文化	網野町ふれあいコンサート	1回	530人	66千円
※ 網野地域公民館の他の社会教育事業は、別科目（青少年教育事業、成人教育事業）で実施				
・公民館報 30千円				
主な財源				
評価・課題等	○芸術文化振興などの事業を実施し、地域住民に幅広い学習機会を提供するとともに、地域内の地区公民館の交流と連携を支援することで、より質の高い公民館活動が展開できた。 ○より一層社会教育活動を推進するため、市民のニーズに合った講座の内容を検討するとともに、広報活動を工夫するなど市民への効果的な周知に努め、参加者の拡大を図る必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業	
細事業名	04 丹後地域公民館管理運営事業			決算書 P.354	
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
7,032千円	7,223千円	191千円	97.3%	7,223千円	
目的	丹後地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の維持管理及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の拡充を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○報償費、旅費(費用弁償)	62千円	○使用料及び賃借料	268千円	
	○需用費	3,731千円	・印刷機借上料	129千円	
	・燃料費	376千円	・自動車借上料	115千円	
	・光熱水費	2,634千円	・汎用受信料等	24千円	
	・修繕料	400千円	○委託料	2,735千円	
	・消耗品費等	321千円	・施設警備費	57千円	
	○役務費	236千円	・電気設備保守管理	186千円	
	・通信運搬費	119千円	・公民館受付等業務	2,094千円	
	・手数料	90千円	・貯留槽清掃委託	63千円	
	・火災保険料	27千円	・設備定期報告業務	259千円	
			・その他委託料	76千円	
社会教育事業	事業種別	事業・講座名	回数	延人数	決算額
	青少年教育	たんごふるさと探検隊	4回	32人	-
	成人教育	トレッキング	3回	48人	178千円
		オカリナ入門講座	4回	29人	27千円
	家庭教育	和の作法 親子教室	3回	21人	21千円
公民館利用	大ホール	213回 9,176人	会議室	46回	571人
	第1研修室	342回 3,678人	和室	161回	2,048人
	第2研修室	81回 895人	茶室	43回	366人
	第3研修室	34回 598人	調理室	23回	456人
	第4研修室	1回 10人			
	計		944回	17,798人	
主な財源	使用料	丹後地域公民館使用料	77千円		
	諸収入	社会教育事業等参加料	27千円		
評価・課題等	○地域の拠点である施設の適正な維持管理と経費の削減に努めるとともに、地域住民へ幅広い学習機会を提供することにより効果的な社会教育活動を推進することができた。				
	○施設の老朽化が進み維持管理経費の増大が予想されるため、引き続き経費節減と施設の適正な維持管理に努めていく必要がある。				
	○地域住民のニーズに合った講座の内容を検討するとともに、広報を工夫し参加者の拡大を図る必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業	
細事業名	05 弥栄地域公民館管理運営事業			決算書 P.354	
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
3,346千円	3,587千円	241千円	93.2%	3,587千円	
目的	弥栄地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の維持管理及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の拡充を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○報償費	90千円	○委託料	732千円	
	○需用費	2,062千円	・施設清掃委託料	470千円	
	・燃料費	62千円	・バス運転委託料	40千円	
	・光熱水費	1,671千円	・消防設備等保守点検	11千円	
	・修繕費	69千円	・建設設備定期報告書作成	211千円	
	・消耗品費等	260千円	○使用料及び賃借料	242千円	
	○役務費	181千円	・有料道路通行料	4千円	
	・通信運搬費	121千円	・テレビ受信料	22千円	
	・手数料	42千円	・土地借上料	216千円	
	・保険料	18千円	○備品購入費	39千円	
社会教育事業	事業種別	事業・講座名	回数	延人数	決算額
	青少年教育	やさか探検隊	4回	46人	29千円
		町民歩こう会	1回	31人	28千円
	成人教育	剪定講座	5回	49人	30千円
		オカリナ入門講座	6回	42人	36千円
		クリスマス講座	3回	35人	26千円
お菓子教室		1回	10人	6千円	
公民館利用	和室(1階)	198回 7,483人	大会議室	382回	9,359人
	和室(2階)	216回 7,064人	小会議室	392回	8,897人
	大ホール	420回 16,977人	調理実習室	144回	6,432人
		計		1,752回	56,212人
主な財源	使用料	弥栄地域公民館使用料	144千円		
	諸収入	社会教育事業等参加料	44千円		
評価・課題等	○地域の拠点である施設の適正な維持管理と経費の削減に努めるとともに、地域住民へ幅広い学習機会を提供することにより効果的な社会教育活動を推進することができた。				
	○施設の老朽化が進み維持管理経費の増大が予想されるため、引き続き経費節減と施設の適正な維持管理に努めていく必要がある。				
	○地域住民のニーズに合った講座の内容を検討するとともに、広報を工夫し参加者の拡大を図る必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地域公民館管理運営事業																					
細事業名	06 久美浜地域公民館管理運営事業			決算書 P.354																					
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実																					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																					
1,649千円	1,759千円	110千円	93.7%	1,759千円																					
目的	久美浜地域の生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として設置している地域公民館の管理運営及び地域住民の身近な場での学習と交流機会の拡充を推進する。																								
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 75千円 ○需用費 1,219千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 301千円 ・燃料費 174千円 ・光熱水費 705千円 ・修繕費 39千円 ○役務費 227千円 <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費 181千円 ・手数料 37千円 ・保険料 9千円 ○委託料 75千円 <ul style="list-style-type: none"> ・施設警備委託料 61千円 ・バス運転委託料 11千円 ・消防設備等保守点検 3千円 ○使用料及び賃借料 27千円 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷機借上料 10千円 ・テレビ受信料 15千円 ・会場借上料 2千円 ○備品購入費 26千円 																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>社会教育事業</th> <th>事業種別</th> <th>事業・講座名</th> <th>回数</th> <th>延人数</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>家庭教育</td> <td>親と子のふるさと教室</td> <td>4回</td> <td>84人</td> <td>18千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成人教育</td> <td>美!姿勢塾</td> <td>4回</td> <td>13人</td> <td>24千円</td> </tr> <tr> <td>かばんづくり講座</td> <td>3回</td> <td>8人</td> <td>18千円</td> </tr> <tr> <td>丹後古代史講座</td> <td>3回</td> <td>48人</td> <td>32千円</td> </tr> </tbody> </table>	社会教育事業	事業種別	事業・講座名	回数	延人数	決算額		家庭教育	親と子のふるさと教室	4回	84人	18千円	成人教育	美!姿勢塾	4回	13人	24千円	かばんづくり講座	3回	8人	18千円	丹後古代史講座	3回	48人
社会教育事業	事業種別	事業・講座名	回数	延人数	決算額																				
	家庭教育	親と子のふるさと教室	4回	84人	18千円																				
	成人教育	美!姿勢塾	4回	13人	24千円																				
		かばんづくり講座	3回	8人	18千円																				
		丹後古代史講座	3回	48人	32千円																				
主な財源	諸収入	社会教育事業等参加料	11千円																						
評価・課題等	<p>○芸術文化振興などの事業を実施し、地域住民に幅広い学習機会を提供するとともに、地域内の地区公民館の交流と連携を支援することで、より質の高い公民館活動が展開できた。</p> <p>○より一層社会教育活動を推進するため、市民のニーズに合った講座の内容を検討するとともに、広報活動を工夫するなど市民への効果的な周知に努め、参加者の拡大を図る必要がある。</p>																								
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課																								

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	03地区公民館管理運営事業
細事業名	01 地区公民館管理運営事業			決算書 P.356
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
6,512千円	6,655千円	143千円	97.8%	6,606千円
目的	地域の課題学習及び交流活動の拠点として地区公民館施設を設置し、生活基盤を支える地区の活性化を目指した活動を支援する。			
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概要	<p>網野地域の地区公民館の施設管理費、経常経費補助金など、管理維持にかかる経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地区公民館施設管理費 <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館施設管理等委託料(1館分) 480千円 ・地区公民館火災保険料等補助金(7館分) 2,233千円 ・その他地区公民館管理経費(10館分) 3,799千円 報償費(地区公民館管理謝金) 1,056千円 需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料) 1,426千円 役務費(通信運搬費、手数料、保険料) 86千円 委託料(消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、地区公民館改修工事委託料) 7千円 使用料及び賃借料(ガス警報器使用料) 4千円 工事請負費(網野地区公民館空調改修工事、網野地区公民館フェンス修繕工事、網野地区公民館屋上防水工事、網野地区公民館トイレ改修工事、網野地区公民館講堂天井防水修繕工事) 1,196千円 備品購入費(消火器4本) 24千円 			
	主な財源	諸収入	網野、新庄公民館光熱水費負担金	387千円
評価・課題等	<p>○利用者の利便性を確保するために必要な修繕を行うことによって施設の機能を確保することができた。</p> <p>○公共施設見直し計画に基づき検討を進めている網野地域の地区公民館施設の管理方法については、引き続き地元の意向を聞きながら進める必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	50公民館一般経費	
細事業名	01 公民館一般経費			決算書	P.358
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
17,017千円	17,214千円	197千円	98.8%	16,067千円	
目的	地域公民館長の配置に係る経費や公民館職員の研修に係る経費及び公用車の維持管理経費、また、公民館行事に関する保険料などの一般経費				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域公民館長の配置及び公民館関係の研修や事業に必要な事務経費及び公用車の維持管理に要する経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域公民館長の配置 14,098千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 (166,500円×12か月×6人) 11,988千円 ・共済費 2,110千円 ○賃金 公民館臨時職員賃金 (10月～3月勤務分) 889千円 ○旅費 全国・近畿・府公民館大会参加等 276千円 ○需用費 公民館大会参加経費 (資料代等)、公用車燃料、食糧費 (来客用お茶)、車検修理代 741千円 ○役務費 自動車登録手数料、自動車損害保険料 286千円 ○委託料 バス運転手委託料 37千円 ○使用料及び賃借料 公民館大会参加有料道路通行料・駐車料 87千円 ○備品購入費 公用車購入費 339千円 ○負担金、補助及び交付金 36千円 <ul style="list-style-type: none"> 京都府公民館連絡協議会分担金 ○補償補填及び賠償金 事故による賠償金 190千円 ○公課費 自動車重量税 38千円 				
主な財源					
評価・課題等	地域公民館の運営体制及び公民館職員の資質向上を図るための研修機会を確保することができた。				
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	03図書館費	01図書館管理運営事業	
細事業名	01 図書館管理運営事業			決算書	P.358
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
45,955千円	46,805千円	850千円	98.1%	48,551千円	
目的	図書館機能を活用した各種事業を実施するなど図書館サービスを充実するとともに、市民の求める読書や情報収集を進め、知的要求に応える学習環境の充実を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市内6館 (室) により全域サービスを行い、市民の読書要求に応えることができた。また、他の関係機関と連携し各種事業を実施し、読書活動の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図書館協議会委員報酬・費用弁償 (10人) 99千円 ○図書館6館の管理運営費 45,856千円 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時・非常勤職員賃金 (19人) 25,703千円 ・図書購入費 (AV資料含む) 9,300千円 ・雑誌新聞購入費 1,182千円 ・図書システム保守料 289千円 ・図書館専用サイト使用料 1,452千円 ・その他経費 (共済費、旅費、光熱水費、空調設備保守点検委託料、コピー機借上料ほか) 7,930千円 ○具体的なサービス内容 <ul style="list-style-type: none"> ・資料 (図書・AV資料・雑誌新聞) の収集・整理・保存・貸出 ・レファレンスサービス (読書案内、利用者の調査研究等の援助) ・図書館相互協力 (主に京都府内の図書館との資料の貸借) ・市内の保育所、学校等への団体貸出 ・読み聞かせ、おはなし会、お楽しみ会、科学あそび教室等の行事開催 ・学校、幼稚園、保育所等との連携による読書推進事業 ・読み聞かせボランティアの活用・育成 ・ホームページ・図書館だより・市広報誌等を通じての広報活動 ・附属施設 (あみの図書館集会所・研修室・情報創作室) の管理 				
主な財源	寄附金	ふるさと応援寄附金			300千円
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金			90千円
評価・課題等	<p>○資料や情報の収集により、市民が求める利用しやすく親しみの持てる図書館に近づき、子どもや大人を対象とした事業により、図書館の利用拡大、読書推進を図ることができた。</p> <p>○今後は、2館4室の連携を高めていくことで利用者が求める資料の提供を細やかにするなど、利用につながるサービスについて検討していくことが必要である。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01郷土資料館管理運営事業
細事業名	01 郷土資料館管理運営事業			決算書 P.360
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,759千円	1,812千円	53千円	97.0%	1,767千円
目的	民俗資料の調査保存、公開施設である郷土資料館の維持管理を行うことで、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、歴史を学ぶことに資する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民及び市外からの来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈を受けた民俗資料を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発を図る郷土資料館の維持管理運営を行った。</p> <p>平成26年度入館者数 904人 (平成25年度入館者数 784人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人件費 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金・共済費 1,105千円 臨時職員2名分の賃金と労災保険料 ○維持管理経費 654千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 66千円 ・燃料費 17千円 ・光熱水費 155千円 ・修繕料 79千円 ・電話料 72千円 ・保険料 55千円 ・機械警備委託料 (長期継続契約) 149千円 ・コピー機借上料 10千円 ・清掃用具借上料 10千円 ・テレビ受信料 15千円 ・郷土資料館まつり用勾玉作り材料 26千円 			
主な財源	使用料	郷土資料館入館料	41千円	
評価・課題等	<p>○施設を適正に維持管理し、市内でかつて使用された生活道具 (民俗資料) を来館者へ公開することで、郷土に残る文化遺産に関する住民の関心を高めることができた。</p> <p>○小学生の社会科見学で実物に触れるなど、様々な工夫を行うことで学習効果の向上につながった。</p> <p>○昭和21年建築の旧木津小学校校舎を利用した建物は、木造であり施設の老朽化が進んでいるため、旧郷小学校への移転を検討する必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業
細事業名	01 古代の里資料館管理運営事業			決算書 P.360
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
10,363千円	10,552千円	189千円	98.2%	10,939千円
目的	古代の里資料館の維持管理を行うことで、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶことに資する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市所蔵の考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図る丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。平成26年度は、市制10周年記念事業に関する特別展示を実施し、来訪者への普及啓発を図った。</p> <p>平成26年度入館者数 3,124人 (平成25年度入館者数 3,881人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人件費 5,562千円 <ul style="list-style-type: none"> ・資料館長報酬、共済費、費用弁償 2,344千円 資料館長報酬 166,500円×12か月=1,998千円 ・臨時職員賃金、共済費 3,218千円 臨時職員3名分の賃金と労災保険料、雇用保険料、社会保険料事業主負担分 ○維持管理経費 3,318千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 1,544千円 ・消耗品等 421千円 ・通信運搬費等役務費 193千円 ・機械警備委託料 127千円 ・浄化槽維持管理委託料 307千円 ・土地借上料 (2,915㎡) 121千円 ・その他管理経費 (清掃用具借上・北-リス・小修繕等) 605千円 ○体験用経費 135千円 <ul style="list-style-type: none"> ・原材料費 (勾玉作り材料および陶芸体験用材料) 88千円 ・報償費 (窯焼謝礼) 47千円 ○工事請負費 1,348千円 <ul style="list-style-type: none"> ・特別収蔵庫温湿度計取替工事、事務室エアコン修繕工事、電気室扉取替工事 			
主な財源	使用料	古代の里資料館入館料	479千円	
	諸収入	古代の里資料館物品販売代金	4千円	
	諸収入	古代の里資料館陶芸教室実習料	149千円	
	諸収入	古代の里資料館書籍販売代金	165千円	
評価・課題等	<p>○小中学校の地域学習の拠点施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。今後もより一層、小中学校の地域学習への活用を図っていく必要がある。</p> <p>○施設の修繕箇所が増えており、計画的に設備更新を図っていく必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.362
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
10,766千円	10,802千円	36千円	99.6%	12,215千円
目的	琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>鳴き砂や環境保全の学習施設として、指定管理制度により、掛津区が管理運営にあっている。教育施設の性格を持つとともに、ジオパークを紹介する展示を行うなど観光施設としても重要な拠点となっている。</p> <p>平成26年度入館者数 9,572人 (平成25年度入館者数 9,143人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 6,494千円 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の管理運営に伴う管理委託料 ○使用料及び賃借料 1,200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料 ○工事請負費 1,405千円 <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場整備工事 ○需用費 1,667千円 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外展示サインの修繕 1,328千円 ・展示写真の更新、ガイドブック印刷など 339千円 			
主な財源	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金	1,400千円	
評価・課題等	<p>○各種の展示事業に加えて、琴引浜をテーマにしたガイドウォークにも取り組み、積極的な管理運営に努めた。各種視察受け入れやジオパーク構想・ガイド事業への支援・協力など行政サイドと連携し、京丹後市の代表的な施設としての役割を果たした。</p> <p>○リピーターを含め市内外の利用者獲得へ向け、展示内容のリニューアルの検討などの取組を進めるとともに、経費の節減に努める必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	01峰山いさなご施設管理運営事業								
細事業名	01 峰山いさなご施設管理運営事業			決算書 P.362								
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ④ 社会教育・スポーツの充実									
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額								
8,632千円	8,798千円	166千円	98.1%	8,934千円								
目的	高齢者の介護予防、生きがいづくりの推進を支援し、スポーツ及びレクリエーションの振興を図ることによって、市民の生活文化の向上を図る。											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民の学習と交流を促進する機会の提供と施設の維持、管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>林業センター</td> <td>2,840人</td> </tr> <tr> <td>いさなご工房</td> <td>1,461人</td> </tr> <tr> <td>いさなごコート</td> <td>9,803人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14,104人</td> </tr> </table> ○管理者経費及び臨時職員賃金 4,427千円 <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理者報酬(1人) 1,998千円 ・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 337千円 ・臨時職員賃金(2人) 2,091千円 ・旅費 1千円 ○管理運営経費 4,205千円 <ul style="list-style-type: none"> ・需用費(消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料) 2,259千円 ・役務費(通信運搬費、廃消火器処理手数料、浄化槽法定検査手数料、火災保険料) 212千円 ・委託料(施設警備委託料、浄化槽維持管理委託料等) 358千円 ・使用料及び賃借料(テレビ受信料、機械器具借上料) 41千円 ・工事請負費(いさなごコート防風シート設置工事) 1,285千円 ・備品購入費(拡声器・消火器) 50千円 				林業センター	2,840人	いさなご工房	1,461人	いさなごコート	9,803人	合計	14,104人
林業センター	2,840人											
いさなご工房	1,461人											
いさなごコート	9,803人											
合計	14,104人											
主な財源	使用料	峰山林業総合センター使用料	92千円									
	使用料	いさなご工房使用料	728千円									
	使用料	いさなごコート使用料	333千円									
	使用料	公有財産使用料	46千円									
	諸収入	峰山林業総合センター木工教室等材料代、太陽光発電余剰電力料	367千円									
評価・課題等	<p>○施設管理、木工・陶芸の指導、定期講座の実施並びにいさなごコート(屋根付ゲートボール場)及び会議室の貸し出しなど、施設管理及び施設を活用した各種事業を通して、市民の学習と交流の機会を提供し、充実したスポーツ・文化活動に貢献することができた。</p> <p>○効率的・効果的な運営を図るため、市の公共施設見直し計画に基づき、運営方法の見直しについて検討する必要がある。</p>											
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課											

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	02マスターズビレッジ管理運営事業
細事業名	01 マスターズビレッジ管理運営事業			決算書 P.364
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
14,812千円	15,320千円	508千円	96.6%	15,320千円
目的	大宮ふれあい工房(陶芸・染身体験施設)、ふれあいスポーツ広場等を管理運営することで、ふれあいと交流及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市民の学習と交流を促進する機会の提供と施設の維持、管理を行った。			
	○利用者数			
	展示室	利用者数	3,365人	
	会議室	利用者数	1,493人	
	陶芸体験	入場者数	1,469人	
		内体験者数	(1,004人)	
	染身体験	入場者数	1,139人	
		内体験者数	(853人)	
	その他	利用者数	4,467人	
	ふれあいスポーツ広場	利用者数	8,319人	
合計		20,252人		
○施設管理運営委託費				
・マスターズビレッジ管理委託料		10,530千円		
○施設維持管理経費				
・需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料等)		3,178千円		
・役務費(通信運搬費、火災保険料等)		119千円		
・委託料(施設警備委託料、草刈委託料等)		610千円		
・使用料及び賃借料(テレビ受信料、清掃用具借上料等)		53千円		
○体験事業経費				
・需用費(体験事業材料代)		322千円		
主な財源	使用料	大宮ふれあい工房使用料	2,023千円	
	使用料	大宮ふれあいスポーツ広場使用料	300千円	
	使用料	公有財産使用料	57千円	
	諸収入	大宮ふれあい工房関係諸収入	68千円	
評価・課題等	○陶芸、染色実習室、展示、会議室及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、高齢者の生きがいづくり及び健康増進を図ることができた。			
	○効率的・効果的な運営を図るため、市の公共施設見直し計画に基づき、運営方法の見直しについて検討する必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	03たちばな会館管理運営事業
細事業名	01 たちばな会館管理運営事業			決算書 P.364
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,200千円	1,225千円	25千円	97.9%	1,225千円
目的	地域の生涯学習活動、コミュニティ活動の拠点としての機能を確保するため、施設の維持管理を行うとともに利用の促進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	地域の生涯学習と交流を促進する機会の提供及び、施設の維持、管理を行った。			
	○利用実績			
	・会議室等			
	区分	利用回数	利用者数	
	会議室	42回	502人	
	料理実習室	27回	276人	
	和室1	95回	572人	
	和室2	95回	574人	
	多目的ホール	189回	2,933人	
	合計	448回	4,857人	
・図書室				
開室日数	249日			
利用者数	60人			
貸出冊数	291冊			
○施設維持管理費				
・需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料)		634千円		
・役務費(通信運搬費、火災保険料)		79千円		
・委託料(施設管理委託料)		480千円		
・使用料及び賃借料(清掃用具借上料)		7千円		
1,200千円				
主な財源	諸収入	たちばな会館光熱水費負担金	313千円	
評価・課題等	○地域の学習活動及びコミュニティ活動の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な地域活動を促進することができた。			
	○公共施設見直し計画に基づき検討を進めている施設の管理方法については、引き続き地域の意向を聞きながら進める必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	04網野教育会館管理運営事業																				
細事業名	01 網野教育会館管理運営事業			決算書 P.366																				
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ④ 社会教育・スポーツの充実																					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																				
3,883千円	3,949千円	66千円	98.3%	4,173千円																				
目的	地域の生涯学習活動、コミュニティ活動の拠点としての機能を確保するため、施設の維持管理を行うとともに利用の促進を図る。																							
主要な 業務・ 事業 及び 成果 の 概要	地域の生涯学習と交流を促進する機会の提供及び、施設の維持、管理を行った。																							
	<p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議室等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用回数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1階和室</td> <td>110回</td> <td>894人</td> </tr> <tr> <td>料理実習室</td> <td>8回</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>講義室</td> <td>42回</td> <td>228人</td> </tr> <tr> <td>大ホール</td> <td>152回</td> <td>1,470人</td> </tr> <tr> <td>全館</td> <td>3回</td> <td>1,342人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>315回</td> <td>4,010人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○施設維持管理費 1,270千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料) 566千円 役務費(通信運搬費、火災保険料) 59千円 委託料(施設管理委託料、浄化槽維持管理委託料等) 624千円 使用料及び賃借料(清掃用具借上料) 21千円 <p>○設計監理委託料 238千円</p> <p>○工事請負費 2,375千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋外工作物移設・撤去工事他 				区分	利用回数	利用者数	1階和室	110回	894人	料理実習室	8回	76人	講義室	42回	228人	大ホール	152回	1,470人	全館	3回	1,342人	合計	315回
区分	利用回数	利用者数																						
1階和室	110回	894人																						
料理実習室	8回	76人																						
講義室	42回	228人																						
大ホール	152回	1,470人																						
全館	3回	1,342人																						
合計	315回	4,010人																						
主な財源	諸収入 国・府道路改良工事に係る府移転補償金			2,045千円																				
評価・課題等	<p>○人権学習や地域の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な学習及び地域活動を促進することができた。</p> <p>○公共施設見直し計画に基づき検討を進めている施設の管理方法については、引き続き地元の意向を聞きながら進める必要がある。</p>																							
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課																							

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会委員設置事業
細事業名	01 文化財保護審議会委員設置事業			決算書 P.366
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
455千円	501千円	46千円	90.8%	501千円
目的	文化財の指定・解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。			
主要な 業務・ 事業 及び 成果 の 概要	<p>○文化財保護審議会の開催経費 171千円</p> <p>市文化財の指定・管理等に関する事項や文化財関係事業、文化財保護普及啓発等を検討するため審議会を開催した。さらに両丹文化財保護連絡協議会において審議検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 半日×4回(4千円×37人) 148千円 費用弁償 23千円 <p>○両丹文化財保護連絡協議会への参加経費 78千円</p> <p>平成26年度は福知山市大江町の大江町総合会館を会場に開催された。7つの市町の文化財保護審議会委員や関係者を含め約60人が参加し交流を深めた。地域に伝わる伝説、伝承と文化財、およびその活用方法を中心に研修が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬 1日×1回(7千円×10人) 70千円 費用弁償、旅費 8千円 <p>○文化財保護審議会委員視察研修費 206千円</p> <p>京丹後市の文化財行政に活かすため、史跡の整備活用の先進地や、展示施設の利用に関する視察研修を行った。</p> <p>平成26年12月10日～11日 清須貝殻山貝塚、熱田神宮、名古屋市博物館、大塚古墳公園など</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅費 10人(随行含む) 137千円 その他経費 10人(随行含む) 69千円 <p>燃料費、バス運転委託料、有料道路通行料、随行職員旅費</p>			
	主な財源			
評価・課題等	<p>○両丹文化財保護連絡協議会へ参加し、各市町間において意見交流を行うことにより研鑽を積むことができた。</p> <p>○委員視察研修では史跡整備、資料館整備、運用などをテーマに視察し、今後の文化財行政への活用を検討することができた。</p> <p>○文化財指定について審議、答申し、平成27年度で新たに2件を指定文化財として登録することとなった。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業						
細事業名	01 文化財保護啓発事業			決算書 P.366						
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額						
2,853千円	3,454千円	601千円	82.5%	4,805千円						
目的	京丹後市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民及び来訪者のために「京丹後市史」や文化財の調査成果を周知する講座並びに市制10周年記念の特別展示・文化財公開等を開催した。また、丹後・東海地方の文化交流調査事業を実施した。平成27年度に京都文化博物館で開催する「日本のふるさと大丹後展」に関する企画委員会、資料調査、準備等を行った。</p> <p>○文化財セミナー 講師謝金・費用弁償(3人) 178千円 ・全3回 延べ参加者240人</p> <p>○「京丹後史博士」育成講座 外部講師(7人)報償費・費用弁償 38千円 ・全12講座 延べ受講者数288人</p> <p>○網野郷土資料館まつり 「織りの実演」謝礼(2人) 18千円</p> <p>○京丹後市制10周年記念文化財特別公開 監視員謝礼(6か所) 90千円 ・10月4日～5日 6か所 延べ参加者540人</p> <p>○京丹後市制10周年記念特別展「丹後前衛-小牧源太郎・上前智祐展-」 424千円 ・会期:10月4日～10月26日 観覧者344人 展示図録・小冊子印刷費、展示図録原稿作成謝金(1人)、展示指導謝金(1人)</p> <p>○京丹後市制10周年記念、但馬国府・国分寺館連携事業「丹後VS但馬」 892千円 ・会期:9月13日～11月9日 記念講演会(10月30日) 観覧者739人 ポスター・チラシ・小冊子印刷費、美術運送・資料調査職員旅費等</p> <p>○丹後・東海地方の文化・方言等関係調査事業 原稿作成謝金、旅費等 335千円</p> <p>○「日本のふるさと大丹後展」開催準備 878千円 企画委員会(3回)謝金・費用弁償、映像編集委託料、資料調査旅費等</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>2,957千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>96.5%</td> </tr> </table> <p>■平成27年度への繰越事業(「丹後・東海地方のことばと文化」印刷費) 497千円</p>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	2,957千円		実質的な予算執行率	96.5%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	2,957千円								
	実質的な予算執行率	96.5%								
主な財源	諸収入 京丹後史博士育成事業資料代 20千円									
評価・課題等	<p>○文化財セミナーや「京丹後史博士」育成講座、市制10周年記念の特別展、文化財公開の実施により、市の歴史や文化財に対する市民の興味・関心を高めることができた。</p> <p>○平成25年に実施した丹後・東海地方の文化・方言等関係調査事業や京丹後市史調査などの結果を活用し、これらに関連する講座や展覧会を行い、引き続き市民に対する啓発を進めていく必要がある。</p>									
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課									

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細事業名	01 市指定文化財等補助金			決算書 P.368
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,000千円	2,000千円	0千円	100.0%	2,000千円
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 14件 2,000千円 ・社寺等文化資料保全補助金該当 10件 1,699千円 ・国、府指定、財団補助金該当 4件 301千円</p> <p>※事業対象 寺院の建造物修理、神社覆屋の修理、郷土芸能の道具の修理、絵画の修理など 事業費総額 16,531千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	補助金を交付することにより、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細事業名	02 史跡等維持管理事業			決算書 P.368
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,388千円	2,390千円	2千円	99.9%	2,366千円
目的	指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 1,645千円 史跡等用地の草刈、清掃により文化財見学の利用供与や、維持管理を行った。 網野銚子山古墳、神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、竹野神社など18件</p> <p>○指定文化財関連施設管理経費 43千円 ・郷村断層等の指定文化財施設の維持経費 12千円 ・火災保険料(旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設) 31千円</p> <p>○京丹後市指定文化財看板等設置事業(土地借上・工事請負、修繕費) 700千円 市指定文化財等の看板2基を設置、また関連施設等の看板修繕、案内板増設などを行った他、設置について土地借上料を支出した。</p>			
主な財源	諸収入	国・府道路改良工事に係る府移転補償金	63千円	
評価・課題等	<p>○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。</p> <p>○指定文化財については案内看板等の未整備のものもあるため、整備を行い、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	04市史編さん事業
細事業名	01 市史編さん事業			決算書 P.368
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,965千円	11,110千円	8,145千円	26.6%	12,029千円
目的	京丹後市史を刊行し、京丹後市の歴史や自然環境の特徴を多くの市民に知らせる。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○編さん委員報酬(調査報酬延べ5人) 78千円</p> <p>○市史編さん専門委員報酬(補助業務1名、週4日勤務) 1,554千円 (日額9,000円×172日) + (半日6,000円×1日)</p> <p>○共済費(専門委員社会保険料等) 254千円</p> <p>○原稿作成謝金(14人) 525千円</p> <p>○費用弁償(専門委員分) 54千円</p> <p>○普通旅費(職員旅費) 208千円</p> <p>○「京都府竹野郡木津村役場文書目録」印刷費(300部) 107千円 旧木津村(網野町)で作成された公文書の目録</p> <p>○その他事務経費(消耗品等) 185千円</p>			
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	3,260千円	
		実質的な予算執行率	91.0%	
	■平成27年度への繰越事業(3冊分印刷費)		7,850千円	
	完了予定日		平成28年3月31日	
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	247千円	
評価・課題等	<p>○自然・地理関係の調査を進め、本文編の原稿を作成することができた。</p> <p>○平成27年度には残りの3冊を刊行し事業終了とする予定であるが、その内容をより多くの市民に周知し、活用していくことが課題である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	04市史編さん事業
細事業名	01 市史編さん事業（繰越）			決算書 P.368
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目 ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
700千円	700千円	0千円	100.0%	700千円
目的	京丹後市史を刊行し、京丹後市の歴史や自然環境の特徴を多くの市民に知らせる。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>久美浜町内の神社62か所、寺院27か所の建築調査を行い、その報告書（60部）を刊行した。</p> <p>○京丹後市内社寺建築調査委託業務 700千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	久美浜町内の社寺調査の実施により、多くの社寺建築の調査を行うことができ、平成27年度に刊行する京丹後市史資料編『京丹後市のまちなみ・建築』の基礎資料とすることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05文化財整理事業
細事業名	01 文化財整理事業			決算書 P.370
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目 ⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
205千円	206千円	1千円	99.5%	206千円
目的	弥栄資料室に保管している民俗資料のほか、市内の5つの施設で保管している考古資料を旧竹野小学校に移転し、資料の適切な保管を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>弥栄資料室で保管している民俗資料及び市内で保管している考古資料を旧竹野小学校に、収蔵保管するために移転した。</p> <p>○民俗資料及び考古資料の移転 205千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	民俗資料、考古資料を旧竹野小学校に移転したことで、資料の適切な保管と今後の有効活用が期待できる。			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡整備事業		
細事業名	01 遺跡整備事業			決算書	P.370	
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
8,459千円	8,470千円	11千円	99.8%	9,447千円		
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>国史跡網野銚子山古墳について、平成23年に策定された「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき史跡の保存を図るべく史跡指定地内の一部を用地取得した。</p> <p>○網野銚子山古墳整備事業費 8,459千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 史跡整備に関する文化庁調査官指導旅費等 84千円 ・需用費 消耗品費 3千円 ・使用料及び賃借料 関係者協議に関する有料道路通行料 22千円 ・公有財産購入費 土地購入費 8,350千円 (6筆、実面積計2,538.15㎡) 					
主な財源	国補	史跡等購入費補助金(4/5)	6,132千円	市債	遺跡整備事業債(合併特例債)	2,100千円
評価・課題等	<p>○指定地の一部ではあるが用地購入したことにより、史跡用地を民間の開発等による影響を受けることがない公共管理とすることができ、遺跡の保護が図られた。</p> <p>○史跡の環境整備を行うにあたり、詳細な現況調査が必要である。当面は、後世の削平(墳丘部の人工的な土地改変、掘削)、崩落等で影響を受けている墳丘裾部を復元設計するためのデータを蓄積することが課題である。</p>					
事業所管課	教育委員会/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	07遺跡発掘調査等事業		
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業			決算書	P.370	
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
2,134千円	2,144千円	10千円	99.5%	2,129千円		
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護活用につなげる。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>府営ほ場整備事業の計画に伴い事業予定地に所在する女布北遺跡の試掘調査を実施するとともに、年度末に調査報告書を刊行した。</p> <p>併せて、宇川地区および竹野、成願寺地区の詳細遺跡分布調査を行い、遺跡台帳の整理を行った。</p> <p>○女布北遺跡試掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査期間 平成26年9月30日～10月10日 ・調査成果 自然堆積層の下層に自然流路を確認したが、顕著な遺構はなし。 <p>○詳細遺跡分布調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査期間 平成26年12月3日～平成27年2月27日 ・調査成果 城館2か所、古墳4か所を新規に確認したほか、詳細位置が不明であった遺跡の位置特定を行うことができた。 <p>○事業経費 2,134千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共済費 発掘調査補助員労災保険料等 26千円 ・賃金 発掘調査補助員賃金 1,498千円 ・旅費 調査に関する協議旅費 13千円 ・需用費 消耗品、車両ガソリン代 79千円 報告書印刷費 300部 ほか 84千円 ・委託料 作業員人材派遣委託料 72千円 ・使用料及び賃借料 自動車借上料 160千円 有料道路通行料 4千円 重機・水中ポンプ等借上料 198千円 					
主な財源	国補	国宝重要文化財等保存整備費補助金(1/2)	1,000千円	府補	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金(1/4)	500千円
評価・課題等	<p>○開発が計画されている地区において試掘調査を実施したことにより、開発時の埋蔵文化財の調整を行うための基礎資料を整理することができた。</p> <p>○将来の開発に備えて円滑な調整と文化財の保護活用を図るため、市内遺跡の分布調査・範囲確認調査を随時進めていく必要がある。</p>					
事業所管課	教育委員会/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費	
細事業名	01 文化財保護一般経費			決算書	P.370
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
769千円	916千円	147千円	83.9%	656千円	
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金の支出や関係団体への補助金の交付を行ったほか、文化財保護課所管施設の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財関係加盟団体経費 70千円 <ul style="list-style-type: none"> 京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金等 <ul style="list-style-type: none"> ・全国史跡整備市町村協議会 50千円 ・全国鳴砂ネットワーク 20千円 ○峰山伝統芸能振興会補助金 50千円 ○文化財収蔵施設維持管理費 272千円 <ul style="list-style-type: none"> 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 (成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館) <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 37千円 ・電話料、火災保険料 129千円 ・機械警備委託料、草刈委託料 88千円 ・修繕料(施設ドア修理) 18千円 ○一般事務経費 118千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 29千円 ・旅費(鳴砂サミット参加ほか) 89千円 ○交通事故損害賠償金 259千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。</p> <p>○補助金等に関する基本方針に基づき、補助金の見直しについて検討する必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	01スポーツ推進委員活動事業	
細事業名	01 スポーツ推進委員活動事業			決算書	P.372
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
3,585千円	3,806千円	221千円	94.1%	4,297千円	
目的	市民に対し、スポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツの振興を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>スポーツ推進委員54人を委嘱し、地域スポーツの振興のためニュースポーツ教室などを開催するとともに、その実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行うため各種研究大会へ参加し資質向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報酬 2,509千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員報酬(市職員3人を除く51人分) ○旅費 700千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員活動費用弁償 672千円 ・職員旅費 28千円 ○需用費 100千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 85千円 ・燃料費 15千円 ○役務費 100千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ安全保険料 100千円 ○委託料 64千円 <ul style="list-style-type: none"> ・バス運転委託料 64千円 ○使用料及び賃借料 28千円 <ul style="list-style-type: none"> ・有料道路通行料 23千円 ・駐車場使用料 5千円 ○負担金、補助及び交付金 84千円 <ul style="list-style-type: none"> ・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金 47千円 ・京都府スポーツ推進委員研究大会参加負担金 11千円 ・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金 26千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○「フルディック・ウォーキング」を重点推進種目として普及に取り組んだ結果、幅広い年代の方へスポーツ参加機会を提供することができた。</p> <p>○市民のスポーツの日常化を進めるために、より多くの方に参加してもらえるよう地区公民館等への働きかけや開催方法などの工夫が必要である。</p> <p>○スポーツ推進委員の資質と意識の向上を図るとともに、市民への認知度を更に高める取り組みが必要である。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	03社会体育団体育成事業	
細事業名	01 社会体育団体育成事業			決算書	P.372
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
17,088千円	17,088千円	0千円	100.0%	17,088千円	
目的	市内の各種スポーツ団体へ補助金を交付することにより、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともにスポーツ団体を育成する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市の体育振興の中心的な組織である京丹後市体育協会に対し支援を行うとともに、網野町ジュニアスポーツ協会に対して、青少年スポーツ教室育成の観点から支援を行った。</p> <p>○京丹後市体育協会補助金 15,727千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年12回の常任理事会開催 ・市体協での体育事業開催 (ジュニアカヌースプリント大会・くみはまかヌー交流大会・府民総体への派遣・京丹後市総合体育大会・あみの八丁浜ロードレース大会・久美浜湾一周駅伝競走大会) ・年3回の広報誌発行 ・各町支部での各種スポーツ大会等の開催 峰山町(みねやま駅伝大会 11/15 ほか) 大宮町(大宮町一周駅伝競走大会 11/30 ほか) 網野町(網野町ソフトバレーボール 大会3/8 ほか) 丹後町(町内盆野球大会 8/13~8/14 ほか) 弥栄町(弥栄招待少年サッカー大会 7/6 ほか) 久美浜町(春季軟式野球 5/25 ほか) <p>○網野町ジュニアスポーツ協会補助金 1,361千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20団体、457名 ・総会 1回、幹事会 4回 ・清掃ボランティア活動(7/19 八丁浜・浜詰 226人参加) ・スポーツ研修会 (1/25「寒い冬 音楽に合わせて、からだを動かしましょう」113人参加) 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提共することができた。</p> <p>○ジュニアスポーツの競技力の向上を図るため、平成27年度から網野町ジュニアスポーツ協会と青少年スポーツ教室を京丹後市スポーツ少年団として組織化することとした。</p> <p>○今後は、指導者の育成・確保や青少年のスポーツ活動への参加促進への支援を通じて、組織の自立促進を図っていく必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	50保健体育総務一般経費	
細事業名	01 保健体育総務一般経費			決算書	P.372
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
234千円	317千円	83千円	73.8%	317千円	
目的	社会体育に関する事務経費のほか、市民の意見を反映したスポーツの推進を図るため、スポーツ基本法に基づいて設置したスポーツ推進審議会の運営経費。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市スポーツ推進計画で掲げた市民のスポーツ推進に関する各施策について、進捗状況を管理した。</p> <p>○報酬 スポーツ推進審議会委員報酬 124千円 (委員12人、審議会3回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回京丹後市スポーツ推進審議会 ①京丹後市スポーツ推進計画について ②平成26年度スポーツ事業について ・第2回京丹後市スポーツ推進審議会 ①京丹後市スポーツ推進計画の具体的施策について ②スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実について ・第3回京丹後市スポーツ推進審議会 ①京丹後市スポーツ推進計画の進捗状況について ②京丹後市スポーツ・文化活動出場激励金について <p>○報償費 報償物品 38千円</p> <p>○旅費 費用弁償、普通旅費 28千円</p> <p>○需用費 消耗品費 44千円</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○スポーツ推進審議会を開催し、スポーツの推進に関する重要事項についての意見をいただくことにより、市民の意向を反映した施策を推進することができた。</p> <p>○京丹後市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ環境の整備に向けた取り組みを進める必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	50保健体育総務一般経費
細事業名	01 保健体育総務一般経費（繰越）			決算書 P.372
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
232千円	237千円	5千円	97.8%	237千円
目的	平成26年3月に策定した「京丹後市スポーツ推進計画」の冊子及び概要版印刷に係る経費			
主要な事務・事業及び成果の概要	○需用費 232千円 ・印刷製本費 京丹後市スポーツ推進計画冊子・概要版印刷製本（各370冊）			
主な財源				
評価・課題等	京丹後市スポーツ推進計画の冊子・概要版を作成して配布することで、関係団体や市の関係部署へ計画の内容周知の一助とすることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	01京都府民総合体育大会事業
細事業名	01 京都府民総合体育大会事業			決算書 P.372
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,507千円	1,508千円	1千円	99.9%	1,508千円
目的	京都府民総合体育大会へ出場する選手の支援を行い、総合成績の上位入賞及び競技力の向上を目指す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	第37回京都府民総合体育大会への京丹後市代表選手の派遣のため、京丹後市体育協会へ補助金を交付した。成績は26市町村中、総合6位入賞であった。各競技ではゲートボール競技で女子が優勝、陸上競技で準優勝だった。 ○大会派遣費補助金 1,500千円 ○閉会式出席職員旅費・有料道路通行料 7千円 【大会結果概要】 総合成績：第6位（26市町村）			
	競技種目	開催日	延べ参加者数	備考
	ソフトテニス	10/19	17人	
	ソフトボール	10/12, 19, 26	男子20人/女子20人	女子4位
	テニス	10/25, 26	16人	
	軟式野球	10/26, 11/2, 9	20人	第3位
	ソフトバレーボール	10/26	成年8人/壮年8人	
	陸上競技	11/2	20人	準優勝
	グラウンド・ゴルフ	11/3	8人	
	ゲートボール	11/23	男子6人/女子5人	女子優勝・男子3位
	バレーボール	11/8, 9	男子15人/女子15人	
	サッカー	11/8, 9	21人	
	バドミントン	11/9	14人	
	バスケットボール	8/30, 31, 11/15, 16	男子18人/女子18人	男子・女子第5位
	ボウリング	11/9	6人	
	卓球	11/16	9人	
	駅伝	2/8	19人	第7位
	ゴルフ	10/9	6人	
	参加者合計		289人	
主な財源				
評価・課題等	○平成20年以降毎年入賞しており、本大会を目標とした活動を通して、本市の競技力の維持・向上を図ることができた。 ○本大会への参加を契機として、競技人口の増加及び競技力向上を図ることによって、引き続き、本市の社会体育の一層の充実を目指していく必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	02市民体育大会事業
細事業名	01 市民体育大会事業			決算書 P.374
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,300千円	3,300千円	0千円	100.0%	3,300千円
目的	京丹後市体育大会を開催することにより、市民のスポーツ競技力の向上とスポーツ推進を図り、スポーツを通して市民相互が交流することで本市の活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市民を対象とした市内唯一の総合体育大会であり、その継続のため開催経費、選手派遣経費等を主催団体である京丹後市体育協会へ補助金として交付した。			
	○市民総合体育大会補助金 3,300千円			
	【大会結果概要】 開催日：9月7日(日) 総合優勝：峰山 総合準優勝：大宮			
	競技種目	参加人数	結果(優勝)	
	1 陸上	329人	男子：丹後/女子：丹後	
	2 軟式野球	119人	弥栄	
	3 卓球	68人	大宮	
	4 バレーボール	218人	男子：久美浜/女子：久美浜/家庭婦人：弥栄	
	5 ソフトボール	184人	壮年男子：大宮/一般女子：峰山	
	6 ソフトテニス	102人	峰山	
	7 剣道	31人	網野	
	8 ゲートボール	97人	男子：峰山/女子：久美浜	
	9 バドミントン	85人	大宮	
	10 サッカー	128人	網野	
	11 テニス	48人	峰山	
	12 グラウンド・ゴルフ	127人	男子：峰山/女子：峰山	
	13 バasketボール	120人	男子：網野/女子：大宮	
	14 ゴルフ	81人	久美浜	
	15 ボウリング	56人	網野	
	16 ソフトバレーボール	144人	峰山	
	参加者合計	1,937人		
主な財源				
評価・課題等	京丹後市体育事業のメイン行事として定着しており、市民の競技力の向上やスポーツ振興、スポーツを通じた交流や体力づくり、生きがいがづくり及び地域の活性化に貢献できた。			
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	03地域力・つ振興事業
細事業名	01 地域力・つ振興事業			決算書 P.374
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,088千円	5,120千円	32千円	99.3%	5,775千円
目的	気軽に親しめるスポーツ大会等を実施し、スポーツを通じた市民交流の機会を提供することで、全ての市民が、健康で生き生きとした生活が送れることを目指す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市民相互の交流や競技力の向上を図るため、各種スポーツ事業を実施した。			
	○報償費	58千円		
	・各種スポーツ大会等審判員謝金	18千円		
・各種スポーツ大会入賞記念品	40千円			
○需用費(消耗品費、燃料費、食糧費)	268千円			
○役務費(新聞折込手数料)	6千円			
○委託料	2,456千円			
・カヌースプリント春季・秋季開催準備及び大会運営(5月17日、10月25日) 107人参加	1,106千円			
・市長杯中学生野球大会開催(5月31日~6月1日) 市内7校参加	133千円			
・弥栄町文化祭駅伝大会バス運転委託料(11月3日) 100人参加	18千円			
・久美浜湾一周駅伝大会運営(11月23日) 594人参加	1,103千円			
・久美浜湾一周駅伝大会バス運転委託料	96千円			
○備品購入費	250千円			
・ノルディック・ウォーキング用ポール 68セット				
○負担金、補助金及び交付金	2,050千円			
・近畿高等学校駅伝競走大会(11月15日~16日) 1,400人参加	1,000千円			
・あみの八丁浜ロードレース大会(10月29日) 550人参加	1,050千円			
主な財源				
評価・課題等	○市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることによって、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の拡充、地域力の活性化に寄与した。 ○各種委託事業及び補助事業の在り方について見直す必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	04青少年スポーツ教室事業
細事業名	01 青少年スポーツ教室事業			決算書 P.374
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,929千円	3,254千円	325千円	90.0%	3,254千円

目的 地域で定期的に活動を行っている青少年スポーツ教室を支援し、京丹後市の次代を担う青少年の健全育成と体力・運動能力の向上を図る。

主要な事業・事業及び成果の概要
 青少年スポーツ団体である各種教室への支援として、市内小中学校に募集チラシを配布、また定期的に活動を行っている教室に対し指導者謝金を交付した。
 ○青少年スポーツ教室指導者謝金(1教室4,500円/月) 2,916千円
 ○需用費(消耗品費) 13千円

	峰山		大宮		丹後		弥栄		久美浜	
	教室	人数	教室	人数	教室	人数	教室	人数	教室	人数
野球	4	93	3	76	1	24	2	81	4	62
サッカー	2	93	1	77	1	12	2	61	1	
バレーボール	2	42	1	18	1	19	1	19	2	49
剣道	1	10	1	19	1	4	1	19		
柔道	1	27								
空手道	1	8	1	16	1	7			1	17
陸上	1	26	1	35	2	58	2	46		
少林寺拳法	1	3								
レスリング	1	8								
テニス	1	14							1	4
卓球			1	18						
バドミントン	1	15								
バスケットボール	1	31	1	51			1	26	1	31
カヌー									1	13
合計	17	370	10	310	7	124	9	252	11	176

《教室数合計》 54教室 《教室人数合計》 1,232人

主な財源

評価・課題等
 ○地域での定期的なスポーツ活動を通して、青少年の健全育成と体力・運動能力の向上を図ることができた。
 ○ジュニアスポーツの競技力の向上を図るため、平成27年度から網野町ジュニアスポーツ協会と青少年スポーツ教室を京丹後市スポーツ少年団として組織化することとした。
 ○今後は、指導者の育成・確保や青少年のスポーツ活動への参加促進への支援を通じて、組織の自立促進を図っていく必要がある。

事業所管課 教育委員会事務局/社会教育課

予算科目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	01体育施設管理運営事業
細事業名	01 体育施設管理運営事業			決算書 P.374
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
56,360千円	57,260千円	900千円	98.4%	56,331千円

目的 市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理運営することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技団体の競技力の向上を図る。

主要な事業・事業及び成果の概要
 スポーツ振興を図るために社会体育施設の維持管理を行った。
 ○需用費(消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料) 31,192千円
 ○役員費(通信運搬費、し尿汲取手数料、火災保険料等) 2,125千円
 ○委託料(運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等) 16,697千円
 ○使用料及び賃借料(土地借上、仮設トイレ借上、テレビ受信料等) 500千円
 ○工事請負費(湊体育館玄関屋上防水改修、三津体育館トイレ改修等) 5,681千円
 ○原材料費(グラウンド用土) 52千円
 ○備品購入費(ソフトバレー・バドミントン支柱、消火器等) 112千円
 ○償還金利息及び割引料(施設利用料返還金) 1千円

【平成26年度利用件数】

体育室・体育館	大宮社会体育館	954件
	弥栄社会体育館	767件
	網野体育センター体育室	748件
グラウンド	丹後社会体育館	412件
	網野グラウンド	654件
	大宮自然運動公園グラウンド	354件
ゲートボール場	豊栄山村広場	373件
	弥栄総合運動公園グラウンド	311件
	弥栄総合運動公園ゲートボール場	652件
テニスコート	久美浜中央運動公園ゲートボール場	463件
	久美浜中央運動公園テニスコート	466件

など

主な財源
 使用料 紅葉ヶ丘運動場夜間照明使用料 ほか 2,828千円
 使用料 公有財産使用料 148千円
 繰入金 地域の元気づくり基金繰入金 4,300千円
 諸収入 自動販売機売上料 35千円
 諸収入 旧宇川中学校施設光熱水費利用負担金 262千円

評価・課題等
 ○施設の適切な維持管理を行うことで、市民へのスポーツ活動の普及・発展に寄与した。
 ○今後もスポーツ活動の拠点として、効率的・効果的な運営を図るため、市の公共施設見直し計画に基づき、管理形態の見直しについて検討していく必要がある。

事業所管課 教育委員会事務局/社会教育課

予算科目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	02社会体育用学校開放施設管理運営事業				
細事業名	01 社会体育用学校開放施設管理運営事業			決算書 P.376				
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ④ 社会教育・スポーツの充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額				
9,543千円	10,466千円	923千円	91.1%	4,866千円				
目的	地域住民の身近なスポーツ施設である学校体育施設を開放することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技団体の競技力の向上を図る。							
主要な事務・事業及び成果の概要	地域のスポーツ振興を図るための学校体育施設の維持管理を行った。							
	○需用費	4,718千円						
	・消耗品費	体育館ワックス、水銀灯・レフランプ等 767千円						
	・印刷製本費	40千円						
	・修繕料	大宮南小学校グラウンド照明分電盤修繕 3,911千円 網野南小学校電撃殺虫器取替 網野中学校グラウンド照明修繕 等						
	○委託料	設計監理委託料 348千円						
	○役務費	65千円						
	・ごみ持込処理手数料	2千円						
	・支障物撤去手数料	63千円						
	○工事請負費	弥栄小学校バックネット改修工事 4,411千円						
○償還金利子及び割引料	1千円							
	学校施設使用料返還金							
	※ 平成26年度使用利用件数 (単位: 件)							
		峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計
小学校	体育館等	2,538	551	929	513	465	773	5,769
	グラウンド	705	179	516	147	162	141	1,850
中学校	体育館等	480	391	1,075	193	255	263	2,657
	グラウンド	88	100	81	28	41	76	414
主な財源	使用料	小学校施設使用料 1,204千円						
	使用料	中学校施設使用料 937千円						
	国補	がんばる地域交付金 4,000千円						
評価・課題等	○市民が利用しやすく、かつ適正な維持管理に努めることで、地域でのスポーツ振興を図るとともに、スポーツを通じた地域住民の交流の場として寄与した。							
	○今後も市民にとって身近で利用しやすい施設としての運営に努めていく必要がある。							
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課							

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	02網野給食以外管理運営事業
細事業名	01 網野給食以外管理運営事業			決算書 P.378
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ② 学校教育の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
43,456千円	43,908千円	452千円	98.9%	46,731千円
目的	心身の健全な発達に寄与するため、網野幼稚園、小学校4校(網野北・網野南・島津・橘)、中学校2校(網野・橘)に栄養バランスの取れた給食を提供した。			
主要な事務・事業及び成果の概要	学校給食等の提供に必要な体制の確保と、維持管理等を行った。			
	○臨時職員	13,456千円		
	・給食調理員(13人)、事務補助員(1人)			
	・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料)	1,006千円		
	・賃金	12,450千円		
	○給食調理及び配送関連経費等	13,127千円		
	・旅費	12千円		
	・需用費	消耗品費・印刷製本費 厨房用消耗品費、給食異動票等 1,755千円 燃料費 ガス代、ボイラー用灯油代、配送車燃料代 4,475千円 光熱水費 電気代、水道料 5,113千円		
	・役務費	通信運搬費 電話代 94千円 検便検査手数料、ごみ持ち込み手数料 1,137千円		
	・委託料	配送車運転委託料(3台のうち1台) 541千円		
○施設及び機器類関連経費等	16,873千円			
・需用費	車両関係修繕料 配送車3台、軽トラック点検修理 482千円 施設設備等修繕料 蒸気配管、炊飯器等修理 2,792千円			
・役務費	浄化槽地下タンク検査手数料、自動車損害保険料等 412千円			
・委託料	浄化槽維持管理業務、電気設備保守点検業務、給食施設消毒業務、消防用設備保守点検業務 1,405千円 108千円			
・工事請負費	合併浄化槽配管修繕工事 379千円			
・備品購入費	蒸気式食器消毒保管庫4台、蒸気式回転釜4台 10,384千円 高速度ミキサー、保温食缶、自動手指消毒器等 790千円			
・その他	自動車重量税、コピー機借上料、テレビ受信料 121千円			
主な財源	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金 10,300千円		
評価・課題等	○網野町域の幼稚園、小中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供することができた。			
	○運営にあたっては、経常的な経費を削減するとともに、調理機器や設備の適正な維持管理に努めることで、適切な運営を図ることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	03網野給食センター施設整備事業
細事業名	01 網野給食センター施設改修事業			決算書 P.380
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ② 学校教育の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
73,587千円	73,587千円	0千円	100.0%	73,450千円
目的	網野学校給食センターの厨房内の空調化工事を行い、調理環境を整備することで安全な給食を提供する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>厨房内の空調化工事を行い、調理環境の整備のための改修を行った。</p> <p>○監理業務委託料 2,700千円</p> <p>○工事請負費 70,887千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厨房内空調化工事（電気設備工事） 22,140千円 ・厨房内空調化工事（機械設備工事） 48,747千円 			
主な財源	国補	がんばる地域交付金	72,000千円	
評価・課題等	網野学校給食センターの厨房内の空調化工事を実施することで、給食調理環境の改善を図ることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	03網野給食センター施設整備事業
細事業名	01 網野給食センター施設改修事業（繰越）			決算書 P.380
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目 ② 学校教育の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
3,335千円	3,360千円	25千円	99.2%	3,360千円
目的	網野学校給食センターの厨房内の空調化工事を行い、調理環境を整備することで安全な給食を提供する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>厨房内の空調化工事に向け、実施設計を行った。</p> <p>○工事設計業務委託料 3,335千円</p>			
主な財源	市債	学校給食センター整備事業債（合併特例債）	3,100千円	
評価・課題等	厨房室内の空調化工事に向けた実施設計を行うことで、給食調理環境の改善に向けた準備を進めることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	04小学校給食管理運営事業		
細事業名	01 小学校給食管理運営事業			決算書	P.380	
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
142,656千円	143,004千円	348千円	99.7%	142,108千円		
目的	児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスの取れた給食を提供した。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨時職員 給食調理員 5人(大宮第一小) 5,807千円 <ul style="list-style-type: none"> ・共済費(社会保険料・労災保険料・雇用保険料) 662千円 ・賃金 5,145千円 ○需用費 15,587千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費・修繕料 1,464千円 ・燃料費 14,123千円 ○役務費(給食調理備品移設手数料ほか) 119千円 ○委託料 119,649千円 <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理業務委託料(15校) 峰山小・吉原小・五箇小・新山小・丹波小・長岡小・大宮南小・豊栄小・間人小・宇川小・吉野小・弥栄小・久美浜小・高龍小・かぶと山小 ○備品購入費 1,474千円 <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理機器等 ガス立型炊飯器(新山小・間人小) 洗米器(間人小) 作業台(吉野小)ほか ○負担金 20千円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府学校栄養士協議会 10千円 ・京都府学校給食研究会 10千円 					
主な財源	諸収入	小学校給食調理機器類貸付料	5,280千円			
評価・課題等	<p>○小学校給食の調理業務について、本市の行財政改革推進計画を踏まえ、アウトソーシングによる民間委託を導入することにより、効率的な運営を図ることができた。</p> <p>○栄養バランスの取れた安心・安全な給食の実施を前提に、民間活力をさらに活用するよう進めるとともに、退職者不補充により人件費を削減していく。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	05中学校給食管理運営事業		
細事業名	01 中学校給食管理運営事業			決算書	P.380	
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
41,910千円	42,547千円	637千円	98.5%	40,809千円		
目的	生徒の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスの取れた給食を提供した。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨時職員 給食調理員 11人 12,618千円 (峰山中5人、大宮中3人、久美浜中3人) <ul style="list-style-type: none"> ・共済費(社会保険料・労災保険料・雇用保険料) 1,476千円 ・賃金 11,142千円 ○需用費 7,699千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費・修繕料 1,605千円 ・燃料費 6,094千円 ○役務費 11千円 <ul style="list-style-type: none"> ・包丁研磨手数料 ○委託料 18,479千円 <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理業務委託料(2校) 丹後中・弥栄中 ○備品購入費 3,089千円 <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理機器等 ガススチームコンベクションオープン(弥栄中) 立型炊飯器、消毒保管機、洗米器(丹後中) 立型炊飯器(峰山中) 移動台(久美浜中)ほか ○負担金 14千円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府学校栄養士協議会 10千円 ・京都府学校給食研究会 4千円 					
主な財源	諸収入	中学校給食調理機器類貸付料	804千円			
評価・課題等	<p>○中学校給食の調理業務について、本市の行財政改革推進計画を踏まえ、アウトソーシングによる民間委託を導入することにより、効率的な運営を図ることができた。</p> <p>○栄養バランスの取れた安心・安全な給食の実施を前提に、民間活力をさらに活用するよう進めるとともに、退職者不補充により人件費を削減していく。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	06幼稚園給食管理運営事業
細事業名	01 幼稚園給食管理運営事業			決算書 P.382
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
4,621千円	4,746千円	125千円	97.3%	4,746千円
目的	給食を実施し、園児の心身の健全な発達を促す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>幼稚園での安全な給食を提供するために必要な体制の確保と維持管理を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○給食調理業務委託料（峰山幼稚園） 4,592千円 ○需用費（賄材料費） 29千円 			
主な財源	諸収入	幼稚園給食調理機器類貸付料	72千円	
評価・課題等	幼稚園給食の調理業務について、民間委託を導入することにより効率的な運営を図ることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	07地元農産物給食利用促進支援事業
細事業名	01 地元農産物給食利用促進支援事業			決算書 P.382
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
628千円	633千円	5千円	99.2%	623千円
目的	地元農産物の学校給食での利用を促進し、農産物や農業・農村への関心や理解を高める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○地元農産物給食利用促進支援事業補助金 628千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別栽培米利用給食実施校へ米代の単価差の補助 218千円 精米1kgあたり40円の補助 5,465kg×40円（21校・1センター実施） ・「京丹後産食材の日」給食実施校へ給食費の補助 410千円 「京丹後産食材の日」3回分の給食人数×1食あたり60円 6,834人×60円（7校・1センター実施） 			
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	600千円	
評価・課題等	<p>○地元産食材や特別栽培米を学校給食に使用することにより、地産地消の推進を図るとともに保護者の給食費負担の軽減にもつながった。</p> <p>○学校給食への地元産食材の導入事業として本事業の効果はあったものの、食材の安定供給や品質確保、発注・配送方法などの課題も明らかになり、今後は、補助金に頼らない食育の推進ができるシステムの構築が必要である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	50学校給食一般経費		
細事業名	01 学校給食一般経費			決算書	P.382	
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
2,844千円	2,862千円	18千円	99.3%	4,071千円		
目的	学校給食全般における衛生管理の徹底を図るとともに、給食献立の研究を通じ、衛生管理と栄養面での充実や食育の推進を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○衛生管理の徹底 2,749千円</p> <p>学校給食衛生管理基準に基づく給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに、衛生対策関連の消耗品等の種類や内容を統一して、一括購入・供給を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（消毒液、手袋、残留塩素測定用試薬ほか） 830千円 ・給食調理員等検便検査手数料 毎月2回実施 1,908千円 ・給食用食材検査手数料 年1回1施設で実施 11千円 <p>○献立研究会運営 78千円</p> <p>衛生管理面・栄養面等についての研究活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費（全国学校給食研究協議大会への参加 1回4人） <p>○負担金 17千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府栄養士会負担金 16千円 ・京丹後市栄養士会負担金 1千円 					
主な財源						
評価・課題等	<p>○学校給食全般における衛生管理と栄養面での充実につながった。</p> <p>○給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査体制の充実を図り、より安心・安全な学校給食を実施していく必要がある。</p>					
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予算科目	11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	01農地・農業用施設災害復旧費	01現年発生農地・農業用施設災害復旧事業								
細事業名	01 現年発生農地・農業用施設災害復旧事業			決算書	P.382							
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額								
4,013千円	6,014千円	2,001千円	66.7%	0千円								
目的	災害復旧事業の実施及び補助金の交付を行い、災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図る。											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>災害により被災を受けた農地・農業用施設について、従前の機能を回復させることにより、農業経営の安定と公益的機能の確保を図るため、農地・農業用施設を早急に復旧し、農業の再生産活動と農地等の多面的機能を確保した。</p> <p>○委託費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計業務 丹後町 1業務 291千円 <p>○負担金、補助及び交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模災害復旧事業支援補助金（29件） 3,722千円 											
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>4,014千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table> <p>■平成27年度への繰越事業 災害復旧工事費 2,000千円 ※平成27年4月完成</p>						参考	繰越明許費を除いた最終予算額	4,014千円		実質的な予算執行率	99.9%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	4,014千円										
	実質的な予算執行率	99.9%										
主な財源												
評価・課題等	災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図ることができ、農家の経営安定につながった。											
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課											

予算科目	11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	01農地・農業用施設災害復旧費	01現年発生農地・農業用施設災害復旧事業
細事業名	01 現年発生農地・農業用施設災害復旧事業（繰越）			決算書 P.382
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
69,620千円	87,544千円	17,924千円	79.5%	87,544千円
目的	災害復旧事業の実施及び補助金の交付を行い、災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>災害により被災を受けた農地・農業用施設について、従前の機能を回復させることにより、農業経営の安定と公益的機能の確保を図るため、農地・農業用施設を早急に復旧し、農業の再生産活動と農地等の多面的機能を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 12千円 ○使用料及び賃借料 ・有料道路通行料 14千円 ○工事請負費 ・補助災害復旧工事 25か所 67,058千円 峰山町（1か所）、網野町（13か所）、丹後町（5か所） 弥栄町（4か所）、久美浜町（2か所） ○負担金、補助及び交付金 ・小規模災害復旧事業支援補助金 10か所 1,996千円 ○職員手当等（時間外勤務及び休日勤務手当） 540千円 			
主な財源	府補	農地・農業用施設災害復旧費補助金（94.3%～98.3%）	49,766千円	
	分担金	農地・農業用施設災害復旧費分担金	465千円	
	市債	農地・農業用施設災害復旧事業債	1,700千円	
評価・課題等	災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図ることができ、農家の経営安定につながった。			
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課			

予算科目	11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	02林業用施設災害復旧費	01現年発生林業用施設災害復旧事業
細事業名	01 現年発生林業用施設災害復旧事業			決算書 P.384
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,307千円	1,330千円	23千円	98.2%	0千円
目的	災害復旧事業の実施及び補助金交付を行い、災害により被災した林業用施設の機能回復を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>災害により被災を受けた林業用施設について、従前の機能を回復させることにより、林業経営の安定を図るため、復旧工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費修繕料 130千円 峰山町（1路線1か所） ○負担金、補助及び交付金 1,177千円 小規模災害復旧事業支援補助金（5件） 			
主な財源				
評価・課題等	災害により被災した林業用施設の復旧工事を実施することにより、民有林等の森林整備の実施に寄与するとともに通行車両等の安全確保が図れた。			
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課			

予算科目	11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	02林業用施設災害復旧費	01現年発生林業用施設災害復旧事業	
細事業名	01 現年発生林業用施設災害復旧事業（繰越）			決算書	P.384
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
17,306千円	25,627千円	8,321千円	67.5%	25,627千円	
目的	災害復旧事業の実施及び補助金の交付を行い、災害により被災した林業用施設の機能回復を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	平成25年9月15日～16日にかけての台風18号により被災を受けた林業用施設について、従前の機能を回復させることにより、林業経営の安定を図るため、復旧工事を実施した。				
	<ul style="list-style-type: none"> ○職員手当等（時間外勤務手当） 51千円 ○負担金、補助及び交付金 1,064千円 小規模災害復旧事業支援補助金（5件） ○工事請負費 16,191千円 補助災害復旧工事 峰山町（2路線2か所）、丹後町（1路線2か所）、久美浜町（2路線2か所） 単独災害復旧工事 網野町（1路線1か所） 				
主な財源	府補 市債	林業用施設災害復旧費補助金 林業用施設災害復旧事業債	11,577千円 3,100千円		
評価・課題等	災害により被災した林業用施設の復旧工事を実施することにより、民有林等の森林整備の実施に寄与するとともに通行車両等の安全確保が図れた。				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	11災害復旧費	02公共土木施設災害復旧費	01公共土木施設災害復旧費	01現年発生公共土木施設災害復旧事業					
細事業名	01 現年発生公共土木施設災害復旧事業			決算書	P.384				
総合計画	基本方針	VI うるおい安全都市		計画項目	② 道路ネットワークの整備				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額					
2,088千円	3,900千円	1,812千円	53.5%						
目的	平成26年に発生した台風19号により被災した公共土木道路施設を早期に復旧することにより、河川・道路施設の機能回復を図る。								
主要な事務・事業及び成果の概要	○修繕料、機械借上料、原材料費 2,088千円								
	(単位：件、千円)								
	区分	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	管理課分	合計
修繕料	件数	5	-	1	1	3	-	-	10
	金額	1,038	-	297	27	449	-	-	1,811
機械借上料	件数	1	-	-	-	-	-	5	6
	金額	50	-	-	-	-	-	52	102
原材料費	件数	1	-	-	-	-	-	6	7
	金額	100	-	-	-	-	-	75	175
合計	件数	7	-	1	1	3	-	11	23
	金額	1,188	-	297	27	449	-	127	2,088
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額			2,100千円				
		実質的な予算執行率			99.4%				
	■平成27年度への繰越事業				1,800千円				
	・滝谷線（単独災）	平成27年11月完成予定			600千円				
	・堂山見世ヶ谷線（単独災）	平成27年11月完成予定			600千円				
	・小金山道線（単独災）	平成27年5月完成			600千円				
主な財源									
評価・課題等	台風により被災した公共土木施設（道路、河川）を復旧することにより、道路の安全な通行の確保と河川の機能回復が図れた。								
事業所管課	建設部／土木課								

予算科目	11災害復旧費	02公共土木施設災害復旧費	01公共土木施設災害復旧費	01現年発生公共土木施設災害復旧事業																																				
細事業名	01 現年発生公共土木施設災害復旧事業（繰越）			決算書 P.384																																				
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目 ② 道路ネットワークの整備																																					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																																				
225,933千円	261,887千円	35,954千円	86.2%	261,887千円																																				
目的	平成25年に発生した台風、豪雨および地すべりにより被災した公共土木河川施設を早期に復旧することにより河川・道路施設の機能回復を図る。																																							
主要な事務・事業及び成果の概要	等楽寺味土野線で復旧工事の詳細設計を実施し、88道路河川施設で復旧工事を施工した。																																							
	○委託料 等楽寺味土野線道路災害復旧工事詳細設計（弥栄町等楽寺） 25,482千円																																							
	○工事請負費 200,177千円 (単位：千円)																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">補助災害復旧</th> <th colspan="2">単独災害復旧</th> <th colspan="2">単費災害復旧※</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路</td> <td>27件</td> <td>105,091</td> <td>27件</td> <td>15,018</td> <td></td> <td></td> <td>54件</td> <td>120,109</td> </tr> <tr> <td>河川</td> <td>21件</td> <td>70,224</td> <td>12件</td> <td>6,829</td> <td>1件</td> <td>3,015</td> <td>34件</td> <td>80,068</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>48件</td> <td>175,315</td> <td>39件</td> <td>21,847</td> <td>1件</td> <td>3,015</td> <td>88件</td> <td>200,177</td> </tr> </tbody> </table>				区分	補助災害復旧		単独災害復旧		単費災害復旧※		合計		道路	27件	105,091	27件	15,018			54件	120,109	河川	21件	70,224	12件	6,829	1件	3,015	34件	80,068	計	48件	175,315	39件	21,847	1件	3,015	88件	200,177
	区分	補助災害復旧		単独災害復旧		単費災害復旧※		合計																																
道路	27件	105,091	27件	15,018			54件	120,109																																
河川	21件	70,224	12件	6,829	1件	3,015	34件	80,068																																
計	48件	175,315	39件	21,847	1件	3,015	88件	200,177																																
※奈良川																																								
○事務費 274千円 職員時間外勤務手当、普通旅費、有料道路通行料																																								
主な財源	国債	公共土木施設災害復旧事業費負担金		117,503千円																																				
	市債	公共土木施設災害復旧事業債		70,300千円																																				
評価・課題等	台風、豪雨及び地すべりにより被災した公共土木施設（道路、河川）を復旧することにより、道路の安全な通行の確保と河川の機能回復が図れた。																																							
事業所管課	建設部/土木課																																							

予算科目	11災害復旧費	02公共土木施設災害復旧費	01公共土木施設災害復旧費	02過年発生公共土木施設災害復旧事業
細事業名	01 過年発生公共土木施設災害復旧事業			決算書 P.384
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目 ② 道路ネットワークの整備	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
43,450千円	43,451千円	1千円	99.9%	40,000千円
目的	平成25年に発生した台風及び豪雨により被災した公共土木河川施設を早期に復旧することにより河川の機能回復を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	8河川で復旧工事を実施した。			
	○工事請負費 43,450千円			
皆谷川（峰山町小西） 7,059千円				
大萱川（峰山町五箇） 7,492千円				
アライ川（峰山町西山） 1,649千円				
別府川（峰山町久次） 2,844千円				
西村川（網野町浅茂川） 10,160千円				
福谷川（弥栄町黒部） 9,439千円				
吉野川（弥栄町野中） 1,944千円				
三谷川（久美浜町三谷） 2,863千円				
主な財源	国債	公共土木施設災害復旧事業費負担金		17,957千円
	市債	公共土木施設災害復旧事業債		8,000千円
評価・課題等	台風、豪雨により被災した公共土木施設（河川）を復旧することにより河川の機能回復が図れた。			
事業所管課	建設部/土木課			

予算科目	11災害復旧費	05その他公共施設災害復旧費	01その他公共施設災害復旧費	01その他公共施設災害復旧事業	
細事業名	01 その他公共施設災害復旧事業（繰越）			決算書	P.384
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	③ ごみ・廃棄物対策	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
3,312千円	3,501千円	189千円	94.6%	3,501千円	
目的	大雨で崩れた網野最終処分場の法面を復旧する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>大雨で崩れた網野最終処分場の法面の復旧工事を行った。</p> <p>網野最終処分場法面災害復旧工事 3,312 千円</p>				
主な財源	市債	その他公共施設災害復旧事業債	3,300千円		
評価・課題等	大雨で崩れた網野最終処分場の法面を修復工事し、原状に戻すことができた。				
事業所管課	市民部/市民課				

予算科目	12公債費	01公債費	01元金	01借入金償還元金																																											
細事業名	01 借入金償還元金			決算書	P.386																																										
総合計画	基本方針	Ⅶ 計画推進のために	計画項目	① 効率的な行財政運営の推進																																											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																											
4,207,611千円	4,207,611千円	0千円	100.0%	4,205,648千円																																											
目的	借り入れた市債の元金償還																																														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市債償還元金 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>償 還 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>公共事業等債</td><td>180,206</td></tr> <tr><td>公営住宅建設事業債</td><td>25,972</td></tr> <tr><td>災害復旧事業債</td><td>78,951</td></tr> <tr><td>(旧)緊急防災・減災事業債</td><td>0</td></tr> <tr><td>全国防災事業債</td><td>0</td></tr> <tr><td>教育・福祉施設等整備事業債</td><td>520,020</td></tr> <tr><td>一般単独事業債</td><td>1,675,308</td></tr> <tr><td>辺地対策事業債</td><td>58,486</td></tr> <tr><td>過疎対策事業債</td><td>513,814</td></tr> <tr><td>厚生福祉施設整備事業債</td><td>27,013</td></tr> <tr><td>国の予算貸付・政府関係機関貸付債</td><td>49,930</td></tr> <tr><td>財源対策債</td><td>94,654</td></tr> <tr><td>減収補てん債</td><td>11,092</td></tr> <tr><td>臨時財政特例債</td><td>2,829</td></tr> <tr><td>減税補てん債</td><td>94,715</td></tr> <tr><td>臨時税収補てん債</td><td>26,956</td></tr> <tr><td>臨時財政対策債</td><td>694,920</td></tr> <tr><td>京都府貸付金</td><td>140,043</td></tr> <tr><td>その他(上水道一般会計出資債ほか)</td><td>12,702</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>4,207,611</td></tr> </tbody> </table>					区 分	償 還 額	公共事業等債	180,206	公営住宅建設事業債	25,972	災害復旧事業債	78,951	(旧)緊急防災・減災事業債	0	全国防災事業債	0	教育・福祉施設等整備事業債	520,020	一般単独事業債	1,675,308	辺地対策事業債	58,486	過疎対策事業債	513,814	厚生福祉施設整備事業債	27,013	国の予算貸付・政府関係機関貸付債	49,930	財源対策債	94,654	減収補てん債	11,092	臨時財政特例債	2,829	減税補てん債	94,715	臨時税収補てん債	26,956	臨時財政対策債	694,920	京都府貸付金	140,043	その他(上水道一般会計出資債ほか)	12,702	合 計	4,207,611
区 分	償 還 額																																														
公共事業等債	180,206																																														
公営住宅建設事業債	25,972																																														
災害復旧事業債	78,951																																														
(旧)緊急防災・減災事業債	0																																														
全国防災事業債	0																																														
教育・福祉施設等整備事業債	520,020																																														
一般単独事業債	1,675,308																																														
辺地対策事業債	58,486																																														
過疎対策事業債	513,814																																														
厚生福祉施設整備事業債	27,013																																														
国の予算貸付・政府関係機関貸付債	49,930																																														
財源対策債	94,654																																														
減収補てん債	11,092																																														
臨時財政特例債	2,829																																														
減税補てん債	94,715																																														
臨時税収補てん債	26,956																																														
臨時財政対策債	694,920																																														
京都府貸付金	140,043																																														
その他(上水道一般会計出資債ほか)	12,702																																														
合 計	4,207,611																																														
主な財源	使用料	市営住宅使用料現年度分	25,532千円																																												
	使用料	市営住宅使用料滞納繰越分	652千円																																												
	諸収入	地域総合整備資金貸付金元金収入	62,932千円																																												
評価・課題等																																															
事業所管課	財務部/財政課																																														

予算科目	12公債費	01公債費	01元金	02繰上償還元金
細事業名	01 繰上償還元金			決算書 P.386
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
21,278千円	21,278千円	0千円	100.0%	2,400千円

目的 公債費抑制のため実施した一般単独事業債の繰上償還。また、公共事業等債について、京都府から事業中止による負担金返還があったため、繰上償還を実施。

主要な事務・事業及び成果の概要

○繰上償還元金 21,278千円

- 一般単独事業債（平成16年度十楽公有地造成事業）
 - 借入先 : 京都北都信用金庫
 - 当初借入額 : 40,900千円（平成18年4月28日借入）
 - 借入利率 : 2.2%
 - 繰上償還額 : 18,878千円
 - 繰上償還日 : 平成27年3月16日
 - 利息軽減額 : 1,352千円（平成27年度以降支払利息累計額）
- 公共事業等債（平成24年度農業水利施設保全合理化負担金事業：大宮町森本）
 - 借入先 : 財務省（財政融資資金）
 - 当初借入額 : 2,400千円（平成25年5月28日借入）
 - 借入利率 : 0.4%
 - 繰上償還額 : 2,400千円
 - 繰上償還日 : 平成26年9月25日
 - 負担金返還日 : 平成26年4月1日（平成25年度決算分）
 - 負担金返還額 : 4,000千円

主な財源

評価・課題等

事業所管課 財務部/財政課

予算科目	12公債費	01公債費	02利子	01借入金償還利子
細事業名	01 借入金償還利子			決算書 P.386
総合計画	基本方針 VII 計画推進のために		計画項目 ① 効率的な行政運営の推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
454,897千円	459,581千円	4,684千円	98.9%	486,544千円

目的 借り入れた市債の利子償還

主要な事務・事業及び成果の概要

市債償還利子 (単位：千円)

区分	償還額
公共事業等債	20,700
公営住宅建設事業債	4,938
災害復旧事業債	3,081
(旧)緊急防災・減災事業債	3,302
全国防災事業債	469
教育・福祉施設等整備事業債	33,829
一般単独事業債	162,860
辺地対策事業債	2,451
過疎対策事業債	39,340
厚生福祉施設整備事業債	2,652
国の予算貸付・政府関係機関貸付債	9,555
財源対策債	4,729
減収補てん債	1,724
臨時財政特例債	49
減税補てん債	5,180
臨時税収補てん債	2,172
臨時財政対策債	147,362
京都府貸付金	5,478
その他（上水道一般会計出資債ほか）	5,026
合計	454,897

使用料 市営住宅使用料現年度分 2,168千円

主な財源

評価・課題等

事業所管課 財務部/財政課